
「震災復興と地域自治に関する
大船渡市民意識調査」

結 果 報 告 書

2017年 3月

丸山 真央

(滋賀県立大学人間文化学部)

はしがき

東日本大震災から6年になります。被害に遭われた皆様、関係者の皆様には、改めて心よりお見舞いを申し上げます。

東日本大震災で大きな被害に遭った地域・自治体の中には、1990年代末から2000年代にかけて全国的に進められた市町村合併、いわゆる「平成の大合併」の中において市町村合併を経験したところが少なくありません。市町村合併は、巨大災害時の自治体の行政・政治機能にどのような影響を及ぼしたのでしょうか。

この報告書は、合併を経験した地域・自治体において、住民の皆様がそのことをどのように評価しているのかを明らかにすることをめざしておこなった質問紙調査の結果をまとめたものです。

調査は、2016年に岩手県大船渡市民の皆様にご協力いただいて実施しました。岩手県大船渡市は2001年11月、気仙郡三陸町を編入合併しました。「平成の大合併」において東北地方第1号の合併であったといわれます。それから約10年の後、東日本大震災において、大船渡市は、死亡者340人、行方不明者79人の大きな被害に遭いました。巨大災害における合併自治体の行政対応に対して、大船渡市民の皆様がどのような評価をしているのか、調査の基礎的な集計結果を、本報告書において示します。

最後になりましたが、質問紙調査にご協力いただいた大船渡市民の皆様へ、心より感謝を申し上げます。また、この調査研究は、公益財団法人 JR 西日本あんしん社会財団の平成28年度公募助成（研究）「東日本大震災の復旧・復興において『平成の大合併』の自治体再編がもたらした影響の検証—住民による政策評価を通じて」（研究代表者・丸山）によって実施しました。研究助成をいただいた公益財団法人 JR 西日本あんしん社会財団にも、記して感謝を申し上げます。

2017年3月
丸山真央

◇この報告書についてのお問い合わせは、以下にお願いいたします。

滋賀県立大学 人間文化学部 丸山真央研究室

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500

電話 0749-28-8438 電子メール maruyama.ma@shc.usp.ac.jp

目 次

はしがき	1
目次	3
1 課題と方法	5
2 回答者の属性	9
3 回答者の生活圏	13
4 市町村合併をふりかえって	17
5 震災・復興をめぐって	25
資料（調査依頼状、質問紙、単純集計表、調査対象者向け報告書）	31

1 課題と方法

1. 調査研究の課題

1990年代末から2000年代にかけて、全国各地で市町村合併が進められた（「平成の大合併」）。そこでおこなわれた合併によって、基礎自治体の行政組織の整理統廃合にとどまらず、地域・自治体を取りまく新しい社会経済環境に対応した自治体政策を展開する基盤を創出できたのかが、「大合併」から10年を経て、いま問われている。

なかでも、2011年3月の東日本大震災で大きな被害に遭った地域・自治体には、「平成の大合併」の中で合併を経験したところが少なくない。合併は、平時の行政にとどまらず、巨大災害時の行政の対応において、どのような影響を及ぼしたのか。自治体の広域化によって、災害時のバックアップが期待できる（たとえば本庁が被災しても支所が機能代替できる、など）ほか、復興事業でのマンパワーなどが確保できること（小規模自治体では対応不可能な規模の復興事業が実施できる、など）が、これまで指摘されてきている。同時に、そうした一方で、地域の事情に即した綿密な行政が展開できないこと、とりわけ災害時にその対応に遅延や空隙が発生するという負の影響も考えられ、実際に被災自治体を対象とする事例研究では、後者の負の影響のほうが大きいことが指摘されてきた¹。

本研究が照準するのは、かかる「巨大災害における合併自治体の対応」問題に対して、当該地域の住民がどのように評価しているのかを明らかにすることである。「巨大災害における合併自治体の対応」問題に関して、行政学や財政学からのアプローチは当然ありうるし、あるべきである。しかし、行政組織や財政能力の評価に問題をとどめず、住民視点から考えることも、同時に必要であろう。

そこで本研究では、東日本大震災で大きな被害に遭った地域・自治体のうち、「平成の大合併」の中で市町村合併を経験した地域・自治体として、岩手県大船渡市を選び出し、市民向け質問紙調査を実施して、「巨大災害における合併自治体の対応」問題に対する市民の評価を明らかにすることとした。

大船渡市は、東日本大震災において、死亡者340人、行方不明者79人の人的被害を出し、建物被害5,582世帯（全壊2,791、大規模半壊430、半壊717、一部損壊1,644）、物的被害は判明分だけで約1,077億円に上る²。三陸沿岸でも有数の大きな被害を受けた地域・自治体である。

本研究代表者はここ数年、「平成の大合併」から一定期間を経て、合併を経験した地域・自治体において、住民が合併とその後の行政をどのように評価しているのかを明らかにする作業をおこなってきた³。本研究は、それを震災被災地とそこでの自治体の災害対応の研究に応用するものということもできる。

¹ こうした研究関心と既往研究については、丸山真央「平成三陸大津波をめぐる合併自治体の対応——地域社会の重層的対応：岩手県大船渡市三陸町地域の事例（1）」山本唯人編『東日本大震災における支援活動と地域社会——岩手県大船渡市を中心に（「社会と基盤」研究会・岩手調査班報告書）』（「社会と基盤」研究会、2014年）、pp.79-93を参照。

² 大船渡市「東日本大震災による被害状況等について」（2016年9月30日現在）による。

³ その成果の一例として、丸山真央『「地域自治の将来に関する意識調査」結果報告書』（滋賀県立大学人間文化学部丸山真央研究室、2017年）がある。

2. 調査の方法

大船渡市で実施した質問紙調査は、標本調査としておこなった。標本抽出は、公職選挙法に基づいて大船渡市選挙管理委員会で選挙人名簿抄本を閲覧し、20歳から79歳までの男女1,210人を無作為・等間隔法で抽出した。標本抽出は全投票区から有権者数に比例しておこなった。

質問紙は自記式のA4版8ページで、郵送で発送・回収した。発送にあたっては、調査回答の協力依頼状、返信用封筒（料金受取人払）、回答用ボールペンを同封した。質問紙の発送は2016年9月29日におこない、回収締め切りは10月31日とした。実際の回収は、最終が2016年12月19日であった。督促状は、調査協力の礼状を兼ねて、2016年11月1日に調査対象者全員に1回発送した。

回収された質問紙数は612、不達は6であった。回収率は50.6%（発送数1,210に対して回収数612）、不達を除いた回収率は50.8%（発送数1,210から不達数6を減じたものに対して回収数612）であった⁴。

地区別の質問紙の配布数（抽出標本数）、回収数、回収率は下表のとおりである。地区別にみると、回収率が市全体より高かったのは、三陸町越喜来、三陸町綾里、末崎町、日頃市町であった。回収率が市全体より低かったのは、赤崎町、盛町、三陸町吉浜、大船渡町、猪川町、立根町であった。2001年の合併前の旧市町別にみると、旧大船渡市の回収率は48.8%、旧三陸町の回収率は54.5%であった。

地区別の調査対象者（質問紙配布）数、調査回答者（回収）数、回収率

	調査対象者		調査回答者		回収率 (%)
	(人)	(%)	(人)	(%)	
盛町	115	(9.5)	53	(8.7)	46.1
大船渡町	261	(21.6)	125	(20.4)	47.9
末崎町	139	(11.5)	76	(12.4)	54.7
赤崎町	138	(11.4)	62	(10.1)	44.9
猪川町	144	(11.9)	70	(11.4)	48.6
立根町	136	(11.2)	67	(10.9)	49.3
日頃市町	64	(5.3)	34	(5.6)	53.1
旧大船渡市計	997	(82.4)	487	(79.6)	48.8
三陸町綾里	85	(7.0)	48	(7.8)	56.5
三陸町越喜来	83	(6.9)	47	(7.7)	56.6
三陸町吉浜	45	(3.7)	21	(3.4)	46.7
旧三陸町計	213	(17.6)	116	(19.0)	54.5
大船渡市計	1,210	(100.0)	603	(98.5)	49.8
その他(市外)	0	(0.0)	6	(1.0)	
不明	0	(0.0)	3	(0.5)	
総計	1,210	(100.0)	612	(100.0)	50.6

3. 回答者構成の特徴

本節では、回答者の構成を示して、実際の人口構成とどのような異同があるのかを検討し、データの偏りを確認しておく。ここでは地区別、男女別、年齢別の構成上の特徴をとりあげて、人口統計と比べることで明らかにする。

⁴ 調査回答者のうち、調査結果の報告を希望された方に対しては、調査対象者向け報告書を送付した。

(1) 地区別

回答者の構成は、旧大船渡市 79.6%、旧三陸町 19.0%、その他 1.0%、不明 0.5%である。住民基本台帳人口（2016年9月末）と比べると、旧大船渡市の割合がやや小さく、旧三陸町の割合がやや大きい。地区別にみると、住基人口より構成割合が大きいのは、末崎町、日頃市町、三陸町綾里、三陸町越喜来である。住基人口より構成割合が小さいのは、盛町、大船渡町、赤崎町、猪川町、立根町、三陸町吉浜である。

回答者の構成：地区別

	調査回答者		H28.9.30住基人口	
	(人)	(%)	(人)	(%)
盛町	53	(8.7)	3,578	(9.5) ▼
大船渡町	125	(20.4)	8,138	(21.6) ▼
末崎町	76	(12.4)	4,281	(11.4) △
赤崎町	62	(10.1)	4,356	(11.6) ▼
猪川町	70	(11.4)	4,652	(12.4) ▼
立根町	67	(10.9)	4,384	(11.6) ▼
日頃市町	34	(5.6)	1,925	(5.1) △
旧大船渡市計	487	(79.6)	31,314	(83.2) ▼
三陸町綾里	48	(7.8)	2,578	(6.8) △
三陸町越喜来	47	(7.7)	2,440	(6.5) △
三陸町吉浜	21	(3.4)	1,323	(3.5) ▼
旧三陸町計	116	(19.0)	6,341	(16.8) △
大船渡市計	603	(98.5)	37,655	(100.0)
その他(市外)	6	(1.0)	0	(0.0)
不明	3	(0.5)	0	(0.0)
総計	612	(100.0)	37,655	(100.0)

注：△は、調査回答者の割合が住民基本台帳人口の割合よりも大きいもの、▼は小さいもの。

(2) 性別

回答者の男女別構成は、男性 42.2%、女性 56.9%、不明 1.0%である。平成 27 年国勢調査の結果でも大船渡市は女性のほうが多いが、本調査の回答者はそれ以上に女性の割合が大きい。

回答者の構成：男女別

	調査回答者		H27国勢調査	
	(人)	(%)	(人)	(%)
男性	258	(42.2)	18,581	(48.8) ▼
女性	348	(56.9)	19,477	(51.2) △
不明	6	(1.0)	0	(0.0)
計	612	(100.0)	38,058	(100.0)

注：△は、調査回答者の割合が平成 27 年国勢調査の結果の割合よりも大きいもの、▼は小さいもの。

(3) 年齢別

回答者の年齢別構成をみると、20 歳代～40 歳代は、2015 年国勢調査の結果に比べて、割合が小さく、50 歳代～70 歳代は割合が大きい。

回答者の構成：年代別

	調査回答者		H27国勢調査		
	(人)	(%)	(人)	(%)	
20～29歳	44	(7.2)	2,578	(9.2)	▼
30～39歳	53	(8.7)	3,706	(13.2)	▼
40～49歳	76	(12.4)	4,829	(17.3)	▼
50～59歳	118	(19.3)	5,228	(18.7)	△
60～69歳	174	(28.4)	6,242	(22.3)	△
70～79歳	127	(20.8)	5,395	(19.3)	△
80歳以上	4	(0.7)	0	(0.0)	
不明	16	(2.6)	0	(0.0)	
計	612	(100.0)	27,978	(100.0)	

注：△は、調査回答者の割合が平成 27 年国勢調査の結果の割合よりも大きいもの、▼は小さいもの。80 歳以上は本来、標本抽出の対象外のため、国勢調査の結果は表示していない。

2 回答者の属性

1. 回答者本人

(1) 性別

回答者全体 (N=612) では、男性 42.2%、女性 56.9%、無回答 1.0%である。地区別にみると、男性の割合が小さいのは、盛町、大船渡町、赤崎町、猪川町、立根町、三陸町越喜来である。日頃市町は他の地区に比べて男性の占める割合がかなり大きく、女性の占める割合が小さい。

回答者の性別：地区別

	男性	女性	無回答	N
盛町	38%	62%		53
大船渡町	36%	63%	1%	125
末崎町	46%	51%	3%	76
赤崎町	40%	60%		62
猪川町	40%	60%		70
立根町	40%	58%	1%	67
日頃市町	65%	32%	3%	34
三陸町綾里	48%	50%	2%	48
三陸町越喜来	40%	60%		47
三陸町吉浜	48%	52%		21

(2) 年代

回答者全体 (N=612) では、20～30歳代 15.9%、40～50歳代 31.7%、60歳代以上 49.9%、無回答 2.6%である。地区別にみると、30代以下の割合が大きいのは、盛町、大船渡町、立根町、三陸町越喜来である。60代以上の割合が大きいのは、末崎町、赤崎町、日頃市町、三陸町越喜来、三陸町吉浜である。

回答者の年齢：地区別

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	N
盛町	8%	9%	9%	25%	26%	19%	4%	53
大船渡町	8%	10%	12%	22%	22%	24%	2%	125
末崎町	4%	5%	9%	24%	24%	28%	7%	76
赤崎町	8%	5%	13%	16%	29%	27%	2%	62
猪川町	11%	3%	13%	24%	31%	17%		70
立根町	6%	15%	12%	25%	27%	13%	1%	67
日頃市町	3%	12%	15%	6%	47%	15%	3%	34
三陸町綾里	4%	8%	21%	15%	29%	21%	2%	48
三陸町越喜来	6%	15%	13%	6%	34%	23%	2%	47
三陸町吉浜	5%	10%	10%	14%	33%	24%	5%	21

(3) 学歴

回答者全体 (N=612) では、中学校卒 19.3%、高校卒 48.0%、短大・高専、専門学校卒 21.1%、大学・大学院卒 10.1%、その他 0.3%、無回答 1.1%である。地区別にみると、大学・大学院卒の割合が大きいのは、日頃市町、盛町、末崎町、立根町である。大学・大学院卒の割合が小さいのは、三陸町綾里、三陸町吉浜、大船渡町、赤崎町である。

回答者の学歴：地区別

	中学校	高校	短大・高専、 専門学校	大学・ 大学院	その他	無回答	N
盛町	6%	51%	26%	15%	2%		53
大船渡町	15%	56%	22%	6%			125
末崎町	26%	38%	21%	13%		1%	76
赤崎町	24%	58%	10%	6%		2%	62
猪川町	16%	49%	23%	11%		1%	70
立根町	15%	45%	24%	13%		3%	67
日頃市町	21%	44%	15%	18%		3%	34
三陸町綾里	38%	33%	25%	2%		2%	48
三陸町越喜来	15%	49%	26%	9%	2%		47
三陸町吉浜	29%	52%	14%	5%			21

(4) 仕事

回答者全体 (N=612) では、「無職・家事」36.1%、「会社経営・役員」5.7%、「被用者 (常雇・フルタイム)」28.8%、「被用者 (非常雇)」14.5%、「農林漁業」4.1%、「自営業・家族従業員」7.4%、無回答3.4%である。地区別にみると、「無職・家事」の割合が大きいのは、末崎町、赤崎町、猪川町、立根町、三陸町越喜来である。「被用者 (常雇・フルタイム、非常雇をあわせたもの)」の割合 (回答者全体では43.3%) が大きいのは、盛町、猪川町、立根町、三陸町綾里である。「農林漁業」の割合が大きいのは、末崎町、赤崎町、日頃市町、三陸町綾里、三陸町吉浜である。

回答者の職業 (就業形態)：地区別

	無職・ 家事	会社経営・ 役員	被用者 (常雇・フルタイム)	被用者 (非常雇)	農林漁業	自営業・ 家族従業員	無回答	N
盛町	26%	8%	28%	25%		11%	2%	53
大船渡町	34%	8%	28%	14%	2%	9%	6%	125
末崎町	38%	5%	29%	9%	5%	5%	8%	76
赤崎町	42%	5%	27%	15%	6%	0%	5%	62
猪川町	37%	3%	37%	11%	1%	10%		70
立根町	39%	6%	25%	25%		3%	1%	67
日頃市町	35%	12%	26%	6%	6%	9%	6%	34
三陸町綾里	27%	2%	31%	15%	10%	13%	2%	48
三陸町越喜来	43%	6%	28%	11%	4%	9%		47
三陸町吉浜	33%		24%	14%	24%	5%		21

(5) 居住年数

回答者全体 (N=612) では、「5年未満」(おおよそ東日本大震災後に転入)19.9%、「5年以上10年未満」6.5%、「10年以上30年未満」24.1%、「30年以上」46.9%、無回答2.6%である。地区別にみると、「5年未満」の割合が大きいのは、三陸町越喜来、猪川町、立根町、大船渡町である。「5年未満」の割合が小さいのは、日頃市町、三陸町吉浜、三陸町綾里である。

回答者の通算居住年数：地区別

	2年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上 50年未満	50年以上	無回答	N
盛町	6%	13%	15%	13%	11%	32%	8%	2%	53
大船渡町	7%	14%	6%	13%	14%	26%	15%	3%	125
末崎町	9%	8%	3%	9%	13%	25%	29%	4%	76
赤崎町	6%	11%	8%	8%	15%	32%	19%		62
猪川町	9%	13%	4%	21%	14%	30%	9%		70
立根町	12%	10%	7%	10%	16%	36%	4%	3%	67
日頃市町		6%		3%	18%	38%	32%	3%	34
三陸町綾里	6%	10%	4%	4%	17%	40%	15%	4%	48
三陸町越喜来	15%	19%	9%	2%	6%	26%	19%	4%	47
三陸町吉浜		14%		14%		33%	33%	5%	21

2. 回答者の世帯

(1) 世帯員数

回答者本人を含む同居世帯員数は、回答者全体（N=612）では、「1人」8.8%、「2人」27.3%、「3人以上」62.4%、無回答1.5%である。地区別にみると、「1人」の割合が大きいのは、盛町、大船渡町、三陸町吉浜である。「1人」の割合が小さいのは、三陸町綾里、赤崎町、猪川町、立根町、日頃市町である。「3人以上」の割合が大きいのは、三陸町綾里、赤崎町、日頃市町、三陸町越喜来である。

回答者世帯の世帯員数：地区別

	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	N
盛町	17%	32%	23%	19%	4%	4%	2%	53
大船渡町	13%	26%	21%	21%	11%	7%	1%	125
末崎町	8%	32%	20%	14%	7%	17%	3%	76
赤崎町	6%	21%	29%	19%	10%	13%	2%	62
猪川町	6%	30%	27%	24%	4%	9%		70
立根町	6%	34%	24%	12%	15%	7%	1%	67
日頃市町	6%	24%	15%	24%	18%	12%	3%	34
三陸町綾里	4%	19%	29%	19%	8%	19%	2%	48
三陸町越喜来	9%	21%	19%	17%	13%	19%	2%	47
三陸町吉浜	10%	29%	33%	14%		14%		21

(2) 住宅

回答者全体（N=612）では、「戸建持家」85.3%、「借家・賃貸住宅」6.9%、「公営住宅（災害公営住宅を含む）」2.9%、「応急仮設住宅」2.0%、その他1.6%、無回答1.3%である。地区別にみると、「借家・賃貸住宅」の割合が大きいのは、盛町、大船渡町、立根町である。「公営住宅（災害公営住宅を含む）」の割合が大きいのは、盛町、大船渡町、三陸町吉浜である。「応急仮設住宅」の割合が大きいのは、赤崎町、盛町である。

回答者世帯の住宅：地区別

	戸建持家	借家・ 賃貸住宅	公営住宅 (災害公営住宅 を含む)	社宅・寮・ 官舎	応急仮設 住宅	親戚・ 知人宅	その他	無回答	N
盛町	70%	15%	8%		4%		2%	2%	53
大船渡町	78%	10%	5%	3%	2%	1%		1%	125
末崎町	96%	1%						3%	76
赤崎町	92%	2%	2%		5%				62
猪川町	87%	7%	3%		3%				70
立根町	85%	9%	1%	3%				1%	67
日頃市町	91%	3%	3%					3%	34
三陸町綾里	92%	6%						2%	48
三陸町越喜来	91%	2%	2%		2%			2%	47
三陸町吉浜	86%	5%	5%	5%					21

3. 回答者世帯の東日本大震災における被害状況

2011年3月の東日本大震災における被災状況について、「あなたのお住まいは、東日本大震災でどのような被害を受けましたか」と尋ね、選択肢から選んでもらった。回答者全体(N=612)では、「全壊」18.5%、「大規模半壊」4.4%、「半壊」4.4%、「一部損壊」27.3%、「被害はなかった」43.3%、無回答2.1%である。地区別にみると、「全壊」の割合が大きいのは、三陸町越喜来、赤崎町、盛町である。「全壊」を含めて被害があった割合(回答者全体では54.6%)が大きいのは、三陸町越喜来、赤崎町、末崎町、大船渡町、盛町である。「被害はなかった」の割合が大きいのは、日頃市町、三陸町吉浜である。

東日本大震災における回答者世帯の被害状況：地区別

	全壊	大規模 半壊	半壊	一部損壊	被害は なかった	無回答	N
盛町	21%	8%	9%	17%	42%	4%	53
大船渡町	19%	5%	6%	26%	44%	1%	125
末崎町	18%	5%	3%	38%	34%	1%	76
赤崎町	31%	10%	5%	23%	29%	3%	62
猪川町	16%			30%	53%	1%	70
立根町	9%	1%	3%	31%	52%	3%	67
日頃市町				32%	65%	3%	34
三陸町綾里	15%		13%	27%	42%	4%	48
三陸町越喜来	36%	11%		19%	32%	2%	47
三陸町吉浜	5%		10%	29%	57%		21

3 回答者の生活圏

1. 出身地

本調査では、「あなたは、中学校を卒業したときに、どちらに住んでいましたか」と尋ね、選択肢から選んでもらった。回答者全体（N=612）では、「旧大船渡市内」56.9%、「旧三陸町内」17.5%、「陸前高田市・住田町」8.7%、「釜石市・遠野市」2.8%、「その他の岩手県内」6.4%、「岩手県外」6.5%、無回答1.3%である。再分類すると、「現在の大船渡市内（旧大船渡市と旧三陸町）」は回答者全体の74.4%、「気仙地方（大船渡市・陸前高田市・住田町）」は83.1%、「岩手県内」では92.3%となる。

地区別にみると、「旧市町内（旧大船渡市のエリアであれば旧大船渡市内、旧三陸町のエリアであれば旧三陸町内）」の割合が大きいのは、三陸町越喜来、猪川町、日頃市町である。「現在の大船渡市内」の割合が大きいのは、三陸町越喜来、三陸町綾里、猪川町、日頃市町である。

回答者の中学卒業時の居住地：地区別

	旧大船渡市	旧三陸町	陸前高田市、 住田町	その他の 岩手県内	宮城県内	その他の 地域	無回答	N
盛町	64%	2%	11%	15%		6%	2%	53
大船渡町	72%	2%	10%	9%	2%	6%		125
末崎町	66%	3%	20%	8%	1%		3%	76
赤崎町	65%	10%	13%	6%	2%	3%	2%	62
猪川町	79%	1%	7%	7%	4%	1%		70
立根町	57%	10%	4%	13%	1%	12%	1%	67
日頃市町	79%		9%	6%	3%		3%	34
三陸町綾里	13%	69%		8%		8%	2%	48
三陸町越喜来	2%	83%		6%	4%	4%		47
三陸町吉浜	5%	62%	5%	19%		5%	5%	21

2. 就業地

回答者全体（N=612）では、「無職・家事」36.1%（221人）、「無職・家事」以外の有職者60.5%（370人）、無回答3.4%（21人）である。このうち、有職者で就業地の回答があった338人のうち、「現在の大船渡市内（旧大船渡市と旧三陸町の計）」86.8%（293人）、「陸前高田市・住田町」9.5%（32人）、「その他の岩手県内」3.0%（10人）、「岩手県外」0.9%（3人）である。再分類すると、有職者で就業地の回答があったうち、「気仙地方（大船渡市・陸前高田市・住田町）」は96.3%、「岩手県内」では99.1%となる。

地区別にみると、「旧市町内（旧大船渡市のエリアであれば旧大船渡市内、旧三陸町のエリアであれば旧三陸町内）」の割合が大きいのは、日頃市町、立根町、三陸町吉浜である。「現在の大船渡市内」の割合が大きいのは、三陸町吉浜、三陸町越喜来、三陸町綾里、猪川町である。反対に「現在の大船渡市内」の割合が小さいのは、盛町、大船渡町、末崎町である。この3地区は、「陸前高田市・住田町」の割合が大きい地区でもある。

回答者の就業地：地区別

	旧大船渡市	旧三陸町	陸前高田市、 住田町	その他の 岩手県内	県外	無回答	N
盛町	67%		13%	3%		18%	39
大船渡町	67%		13%	1%	1%	17%	82
末崎町	66%	2%	13%			19%	47
赤崎町	64%	6%	6%	3%		22%	36
猪川町	84%	2%	11%	2%			44
立根町	75%	3%	8%	3%	3%	10%	40
日頃市町	77%					23%	22
三陸町綾里	46%	40%		9%		6%	35
三陸町越喜来	48%	44%				7%	27
三陸町吉浜	21%	71%		7%			14

注：「無職」と「家事」を除いて集計。

3. 購買圏

「あなたのおたくでは、次のことをどこでしていますか」という質問文で、日用品（「日用雑貨・食料品の購入」と非日用品（「電化製品・家具の購入」）に関して、「最も頻繁にするとところ」を選択肢から選んでもらった。

(1) 日用品の購買

回答者全体（N=612）では、「現在の大船渡市内（旧大船渡市と旧三陸町の計）」91.5%、「陸前高田市・住田町」1.3%、「その他の岩手県内」3.2%、「移動販売・宅配・通販（ネットを含む）」1.8%、「その他」0.3%、無回答1.5%である。地区別にみると、「現在の大船渡市内」の割合が大きいのは、三陸町越喜来、盛町、立根町、赤崎町、猪川町、三陸町綾里である。

日用雑貨・食料品の購買先：地区別

	旧大船渡市	旧三陸町	陸前高田 市、 住田町	その他の 岩手県内	宮城県内	その他の 地域	移動販売 ・宅配 ・通販等	その他	無回答	N
盛町	96%						2%		2%	53
大船渡町	90%		1%	4%	2%		2%	1%	2%	125
末崎町	84%		8%	1%			4%		3%	76
赤崎町	95%			2%			2%		2%	62
猪川町	94%		1%	1%			3%			70
立根町	96%			3%				1%		67
日頃市町	91%			3%			3%		3%	34
三陸町綾里	94%			4%			2%			48
三陸町越喜来	85%	13%		2%						47
三陸町吉浜	71%	14%		14%						21

(2) 非日用品の購買

回答者全体（N=612）では、「現在の大船渡市内（旧大船渡市と旧三陸町の計）」80.4%、「陸前高田市・住田町」0.3%、「釜石市・遠野市」0.4%、「その他の岩手県内」8.5%、「県外」0.9%、「移動販売・宅配・通販（ネットを含む）」6.2%、「その他」0.2%、無回答3.1%である。地区別にみると、「現在の大船渡市内」の割合が大きいのは、末崎町、三陸町綾里、赤崎町、盛町である。

電化製品・家具の購買先：地区別

	旧大船渡市	旧三陸町	陸前高田市、 住田町	その他の 岩手県内	宮城県内	その他の 地域	移動販売 ・宅配 ・通販等	その他	無回答	N
盛町	83%			6%			9%	2%	53	
大船渡町	73%	1%	1%	12%			10%	4%	125	
末崎町	91%			1%	1%		4%	3%	76	
赤崎町	84%			8%			3%	5%	62	
猪川町	79%		1%	11%	1%		6%	1%	70	
立根町	81%			10%	1%	1%	6%		67	
日頃市町	82%			6%			3%	9%	34	
三陸町綾里	88%			8%			4%		48	
三陸町越喜来	74%	2%		9%	2%	2%	4%	2%	47	
三陸町吉浜	81%			14%			5%		21	

4. 通院圏

「あなたのおたくでは、次のことをどこでしていますか」という質問文で、「病院・診療所の利用」に関して、「最も頻繁にするところ」を選択肢から選んでもらった。回答者全体（N=612）では、「現在の大船渡市内（旧大船渡市と旧三陸町の計）」90.0%、「陸前高田市・住田町」0.5%、「釜石市・遠野市」0.9%、「その他の岩手県内」3.6%、「県外」1.6%、「その他」0.3%、無回答3.3%である。地区別にみると、「現在の大船渡市内」の割合が大きいのは、盛町、立根町、末崎町、赤崎町である。「現在の大船渡市内」の割合が小さいのは、日頃市町である。

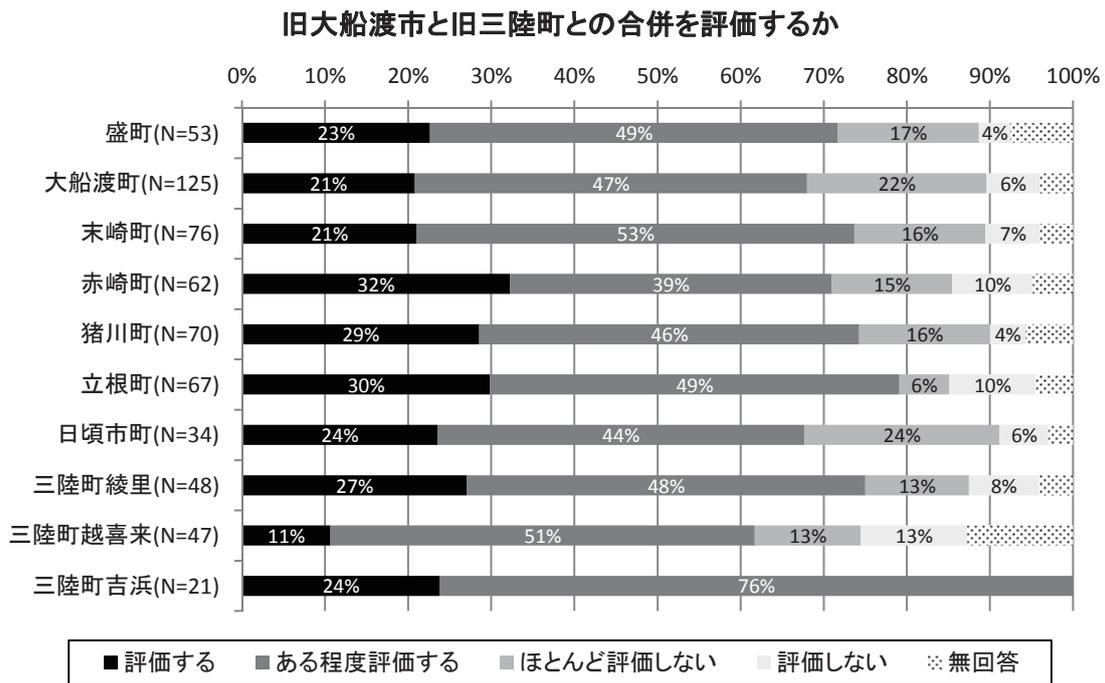
病院・診療所の通院先：地区別

	旧大船渡市	旧三陸町	陸前高田市、 住田町	その他の 岩手県内	宮城県内	その他の 地域	その他	無回答	N
盛町	94%		2%		2%			2%	53
大船渡町	89%	2%		4%	1%		2%	3%	125
末崎町	93%		1%	3%	1%			1%	76
赤崎町	92%			2%				5%	62
猪川町	89%	1%		6%	3%			1%	70
立根町	94%			4%		1%			67
日頃市町	82%		3%	6%				9%	34
三陸町綾里	85%	2%		6%		4%		2%	48
三陸町越喜来	53%	36%		4%				6%	47
三陸町吉浜	57%	29%		14%					21

4 市町村合併をふりかえって

1. 市町村合併の総合評価

「平成 13(2001)年の旧大船渡市と旧三陸町の合併についてうかがいます」という文章に続いて、「あなたは、この市町村合併をどのように評価しますか」との質問項目を設け、「評価する」、「ある程度評価する」、「ほとんど評価しない」、「評価しない」という 4 件法で回答を求めた。「評価する」と「ある程度評価する」をあわせた肯定的評価の割合は、三陸町吉浜で 100%、立根町で 79%、三陸町綾里で 75%など、7 割以上を占めているところが大半である。三陸町越喜来は 6 割強で、他の地区に比べると肯定的評価の割合が小さい。



2. 市町村合併のメリットとデメリット

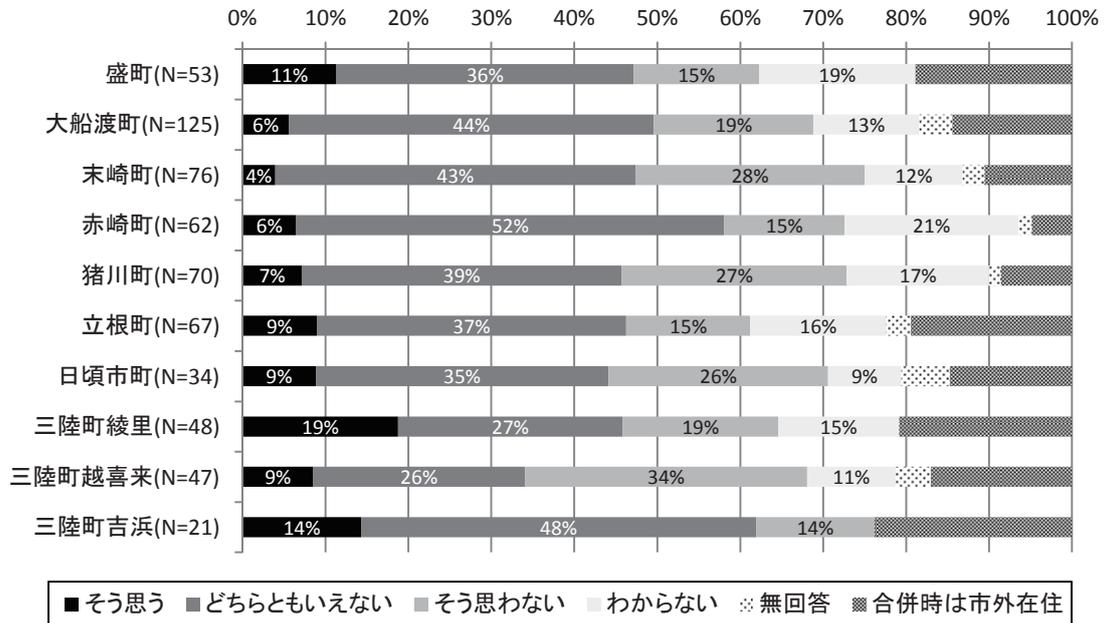
2001 年の 2 市町合併当時、現在の大船渡市内に住んでいなかった人を除いて、合併のメリット 4 項目、デメリット 2 項目を挙げて、それぞれについて、「そう思う」、「どちらともいえない」、「そう思わない」、「わからない」の 4 件法で回答を求めた。

2.1 合併のメリット

(1) 「行政サービスが充実した」

回答結果を地区別にみると、多くの地区で「どちらともいえない」という回答が大きな割合を占めており、小さいところでも 2 割台半ば、大きいところでは 5 割超となっている。「そう思わない」と答えた割合は、多くの地区で「そう思う」の回答割合より大きい。「そう思う」と答えた割合は、大半の地区で 1 割前後しかないが、三陸町綾里と三陸町吉浜では、他の地区と比べて割合がやや大きい。三陸町越喜来では割合がそれほど大きくないので、編入合併された旧三陸町地域で「そう思う」の割合が共通して大きいということではできないが、旧大船渡市地域に比べると、「そう思う」の割合が大きいということではある。

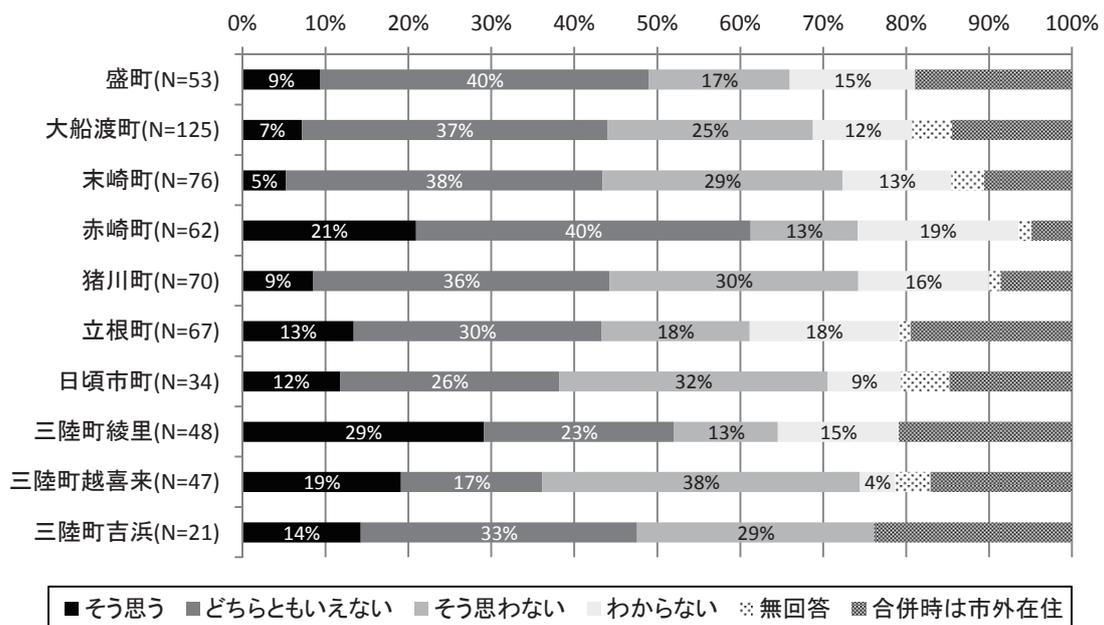
合併のメリット:行政サービスが充実した



(2)「公共施設が利用しやすくなった」

旧大船渡市地域のすべての地区で、「どちらともいえない」が最も大きな割合を占めている。旧三陸町地域の3地区では、回答傾向が大きく割れている。三陸町綾里では「そう思う」という肯定的評価が割合を占めているのに対して、三陸町越喜来と三陸町吉浜では、「そう思う」という肯定的評価より、「そう思わない」という否定的評価の割合のほうが大きい。

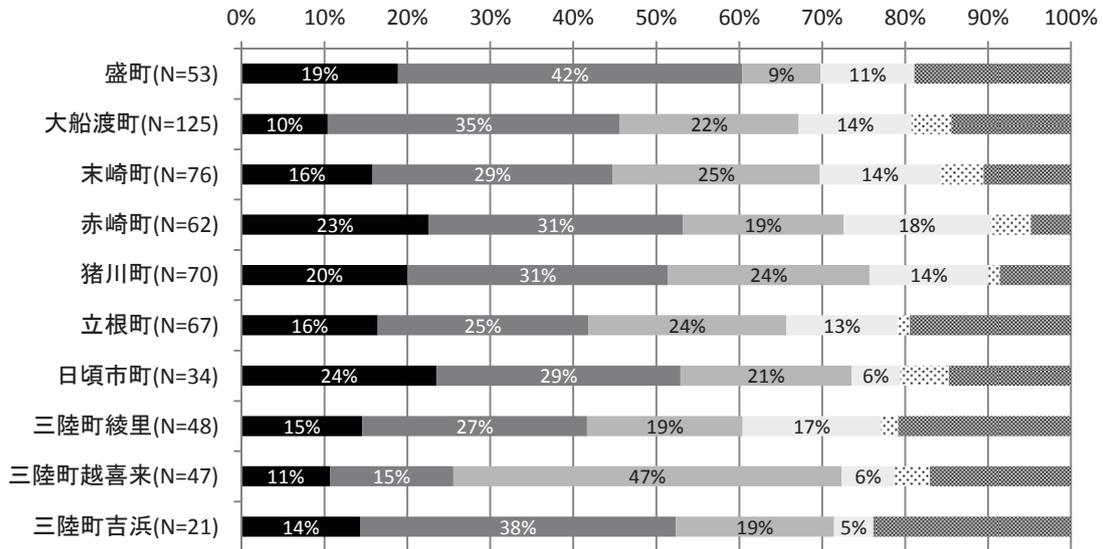
合併のメリット:公共施設が利用しやすくなった



(3) 「地域のイメージアップが図られた」

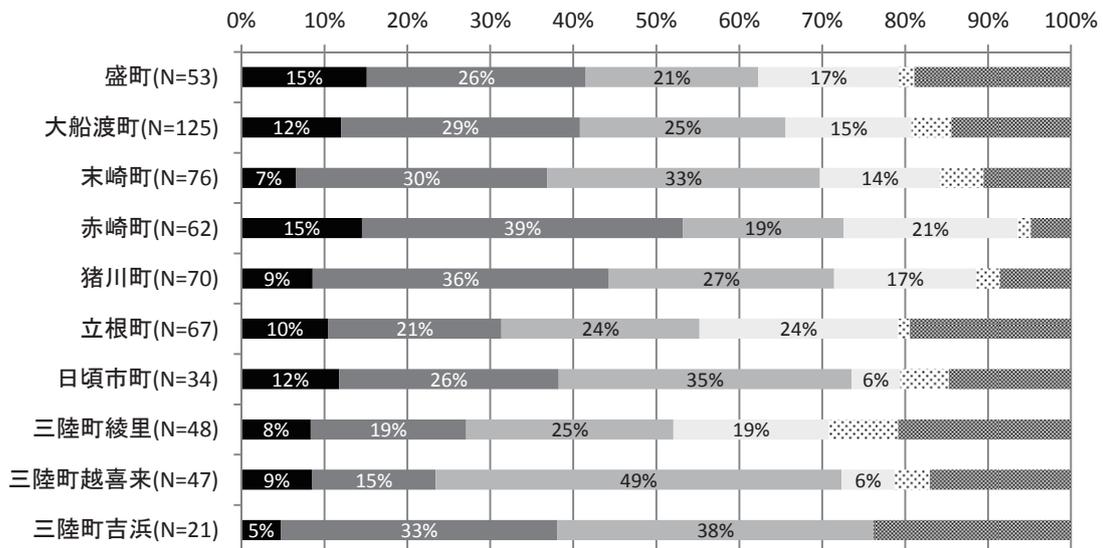
旧大船渡市、旧三陸町地域のいずれでも、大半の地区で「どちらともいえない」の回答が最も大きな割合を占めている。三陸町越喜来だけは、「そう思わない」という否定的評価が大きな割合を占めている。

合併のメリット:地域のイメージアップが図られた



■ そう思う ■ どちらともいえない ■ そう思わない ■ わからない ∴ 無回答 ▨ 合併時は市外在住

合併のメリット:自治体への住民参加が広がった



■ そう思う ■ どちらともいえない ■ そう思わない ■ わからない ∴ 無回答 ▨ 合併時は市外在住

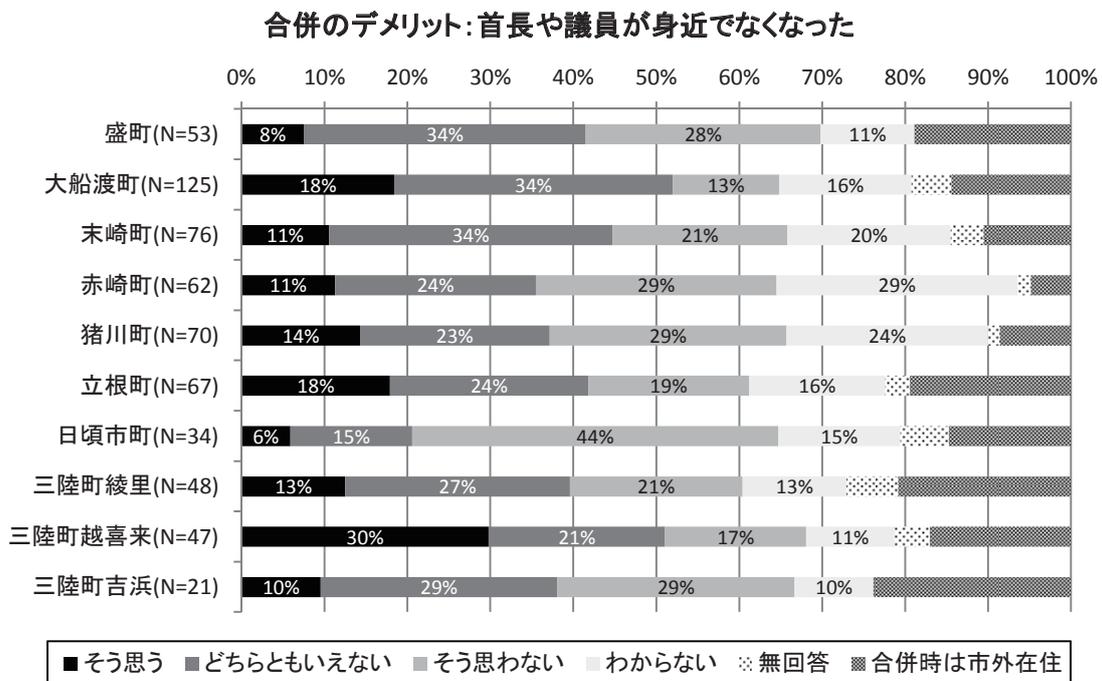
(4) 「自治体への住民参加が広がった」

「どちらともいえない」という回答が最も大きな割合を占めている地区と、「そう思わない」が最も大きな割合を占めている地区とがある。前者は盛町、大船渡町、赤崎町、猪川町であり、後者は末崎町、立根町、日頃市町、三陸町綾里、三陸町越喜来、三陸町吉浜である。後者の否定的な評価が目立つ地区は、おおむね市内でも周辺のなところに位置する地区である。(グラフは前頁)

2.2 合併のデメリット

(1) 「首長や議員が身近でなくなった」

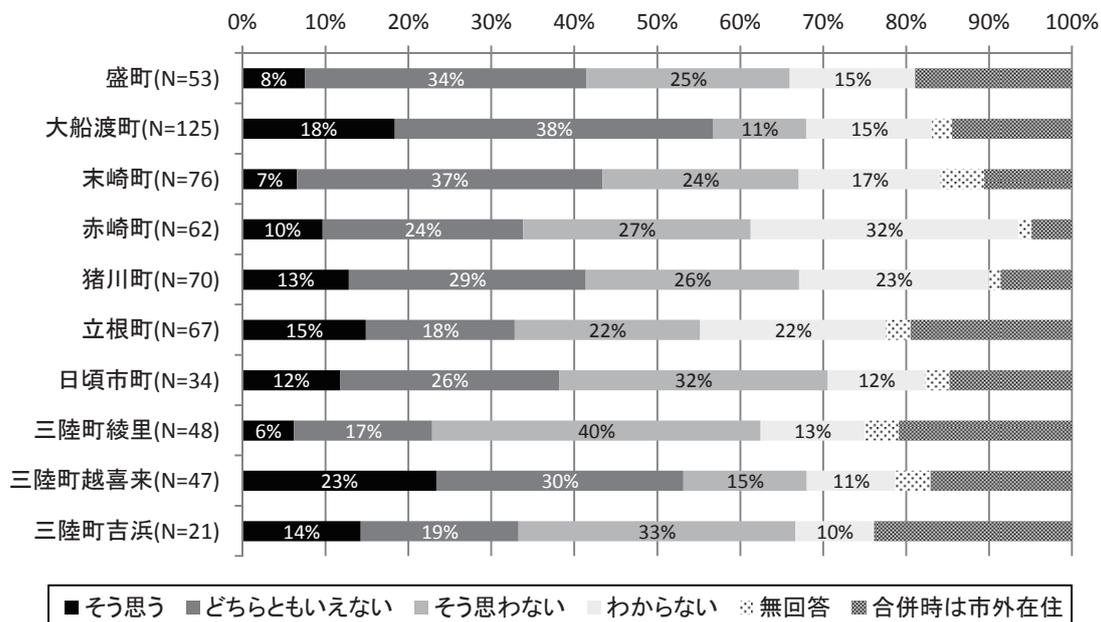
「どちらともいえない」という回答が最も大きな割合を占めているのは、盛町、大船渡町、末崎町、立根町、三陸町綾里、三陸町吉浜である。それに対して、デメリットを認める「そう思う」という回答が最も大きな割合を占めているのは、三陸町越喜来である。デメリットに否定的な「そう思わない」という回答が最も大きな割合を占めているのは、赤崎町、猪川町、日頃市町である。



(2) 「知らない行政職員ばかりになった」

全体として「どちらともいえない」という回答と「そう思わない」という回答が目立つが、三陸町越喜来だけは、デメリットを認める「そう思う」という回答が、他の地区に比べて大きな割合を占めている。

合併のデメリット:知らない行政職員ばかりになった

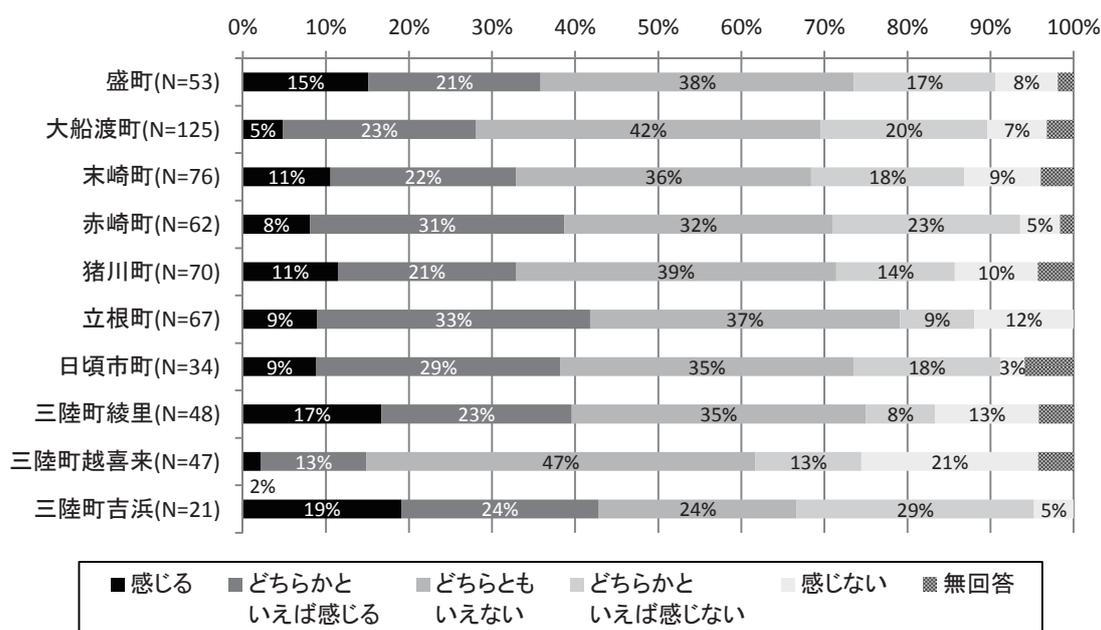


3. 合併自治体の一体感と愛着

3.1 「市としての一体感」

2市町合併から15年を経て、市としての一体感はどの程度醸成されているのかを明らかにするために、「現在、大船渡市としての一体感を感じますか」という質問を、「感じる」、「どちらかといえば感じる」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば感じない」、「感じない」の5件法で尋ねた。

今の大船渡市に一体感があるか



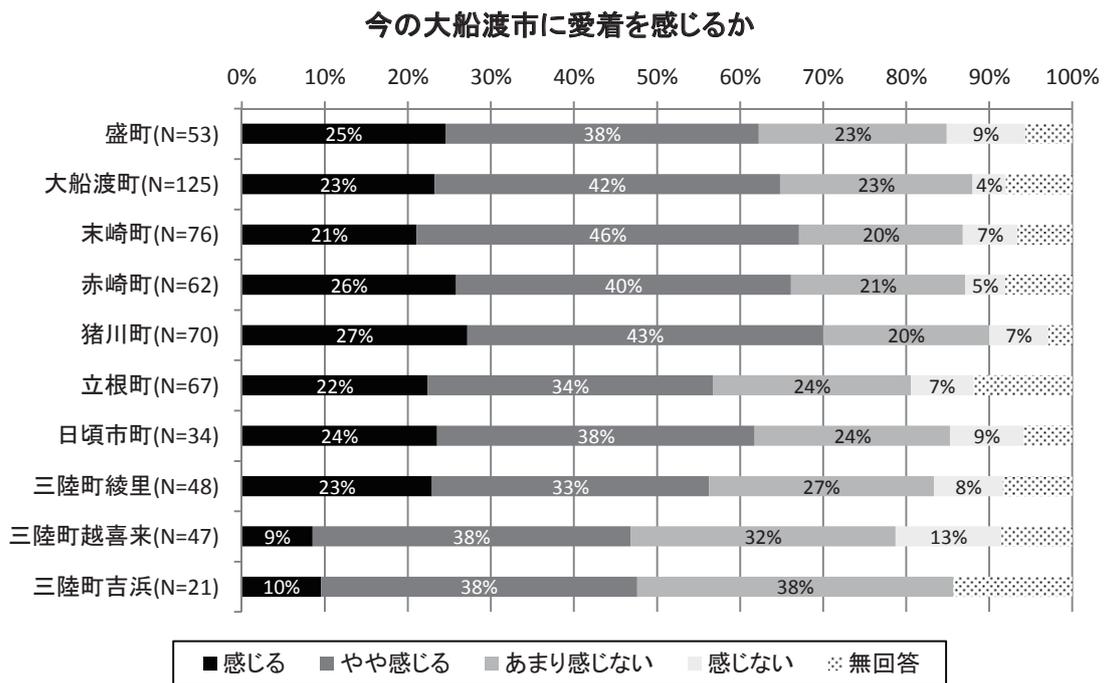
「感じる」と「どちらかといえば感じる」をあわせて「一体感あり」、「感じない」と「どちらかといえば感じない」をあわせて「一体感なし」とし、加えて「どちらともいえない」の割合をみると、「一体感あり」の割合が最も大きい地区は、赤崎町、立根町、日頃市町、三陸町綾里、三陸町吉浜である。このほかの地区でも、2割台後半から4割台前半あたりを占めているが、三陸町越喜来だけは著しく割合が小さい。「どちらともいえない」の割合が最も大きい地区は、盛町、大船渡町、末崎町、猪川町、三陸町越喜来である。「一体感なし」の割合が最も大きい地区はなかった。(グラフは前頁)

3.2 地域への愛着

(1) 今の大船渡市への愛着

合併によってできた自治体に対して、どの程度の愛着がもたれているのかを明らかにするために、「次のところに愛着を感じますか」という質問群の中で、「現在の大船渡市」について、「感じる」、「やや感じる」、「あまり感じない」、「感じない」の4件法で尋ねた。

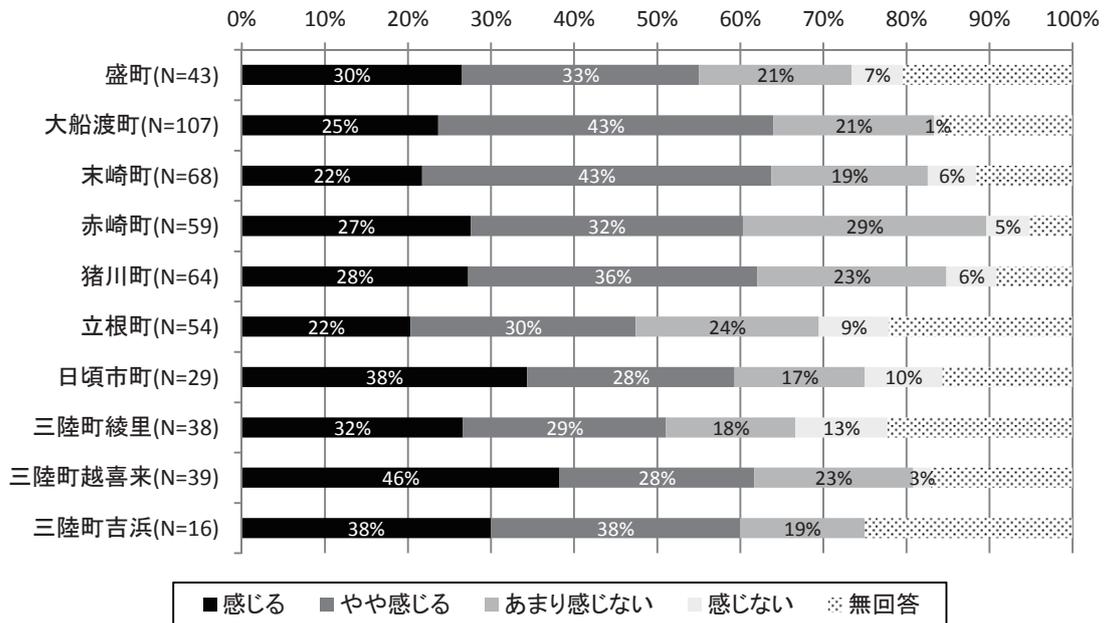
「感じる」と「やや感じる」をあわせた割合に注目すると、旧大船渡市地域では、どの地区でも6割前後を占めている。それに対して旧三陸町地域では、三陸町綾里では5割強であるが、三陸町越喜来と三陸町吉浜では5割を切っていて、おおむね旧大船渡市地域よりも愛着の醸成がなされていないことがうかがえる。



(2) 旧大船渡市と旧三陸町への愛着

2001年の合併以前の旧大船渡市と旧三陸町に対する愛着を、(1)と同様の方法で尋ねた。「合併前の旧大船渡市」は合併時に同市内在住であった人のみ、「合併前の旧三陸町」は合併時に同町内在住であった人のみに尋ねた。おおむねどの地区でも、「感じる」とやや感じる」と答えた人をあわせると5~6割程度に上っている。旧大船渡市地域と旧三陸町地域とで目立った違いはみられない。

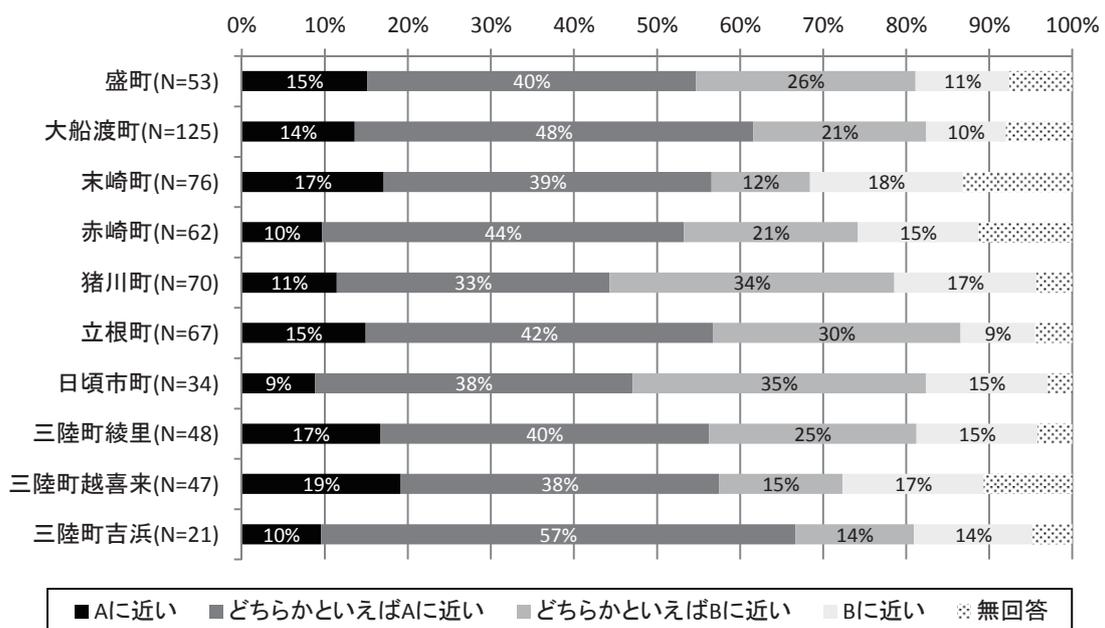
合併前の旧大船渡市・旧三陸町に愛着を感じるか



4. 合併後の行政運営

合併後の新市の行政運営に関して、次のような質問を設けた。「あなたは、次の見方について、AとBのどちらの意見に近いですか」という質問文のもと、「【Aの意見】合併しても旧市町村の特色を残す行政をするべきだ」と「【Bの意見】合併したら新市で一体の行政をすべきだ」という2つの意見を並べて、「Aに近い」、「どちらかといえばAに近い」、「どちらかといえばBに近い」、「Bに近い」の4件法で回答を求めた。

A「合併後も旧市町村の特色を残す」／B「合併したら新市一体の行政」



「Aに近い」と「どちらかといえばAに近い」をあわせて「特色重視派」、「どちらかといえばBに近い」と「Bに近い」を「一体化重視派」とすると、猪川町、日頃市町を除く全地区で、特色重視派が一体化重視派を上回っている。旧大船渡市地域と旧三陸町地域とで目立った違いはみられない。

5 震災・復興をめぐる

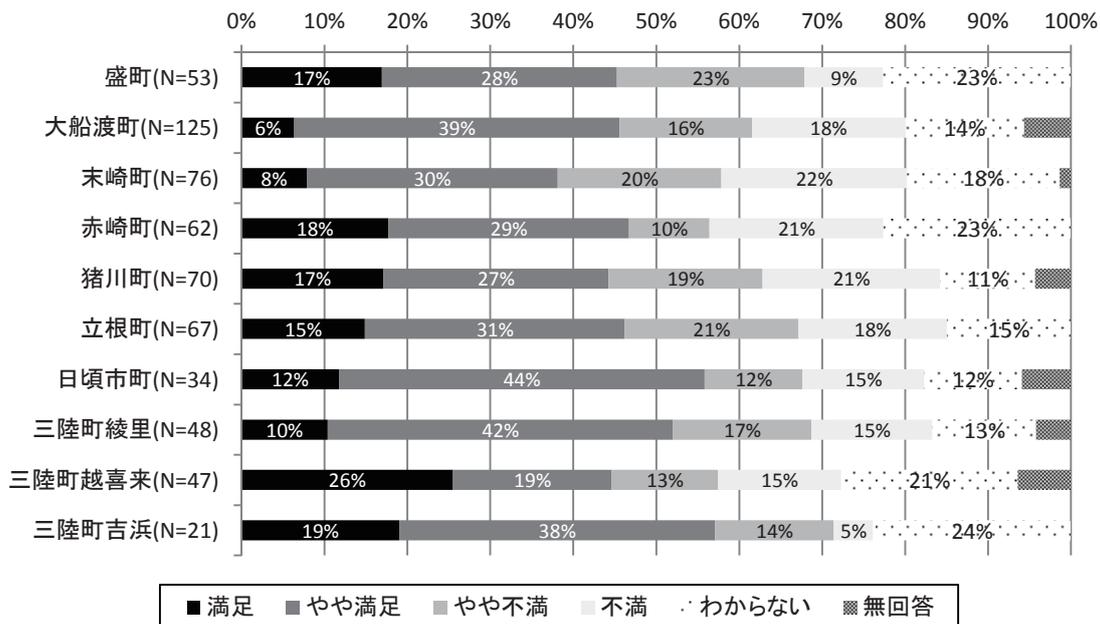
1. 災害段階別の行政対応に関する評価

東日本大震災の発災直後の応急対応段階、復旧段階、復興段階のそれぞれの段階において、市行政がどの程度機能していたのか・しているのかについて、「次にあげる事柄について、どのように感じましたか」という質問群の中で、「大船渡市の働きぶり」という項目を設けた。「地震・津波が発生した直後」（発災直後の応急対応段階）、「震災後、インフラが復旧しはじめたころ」（復旧段階）、「復興事業」（復興段階）のそれぞれについて、「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」、「わからない」の5件法で回答を求めた。

(1) 発災直後の応急対応段階

回答者全体（N=612）では、「満足」13.4%、「やや満足」32.8%、「やや不満」16.8%、「不満」17.5%、「わからない」16.5%、無回答2.9%である。地区別にみると、「満足」と「やや満足」をあわせた割合（回答者全体では46.2%）が大きいのは、三陸町吉浜、日頃市町、三陸町綾里である。「不満」と「やや不満」をあわせた割合（全体では34.3%）が大きいのは、末崎町、猪川町、立根町である。

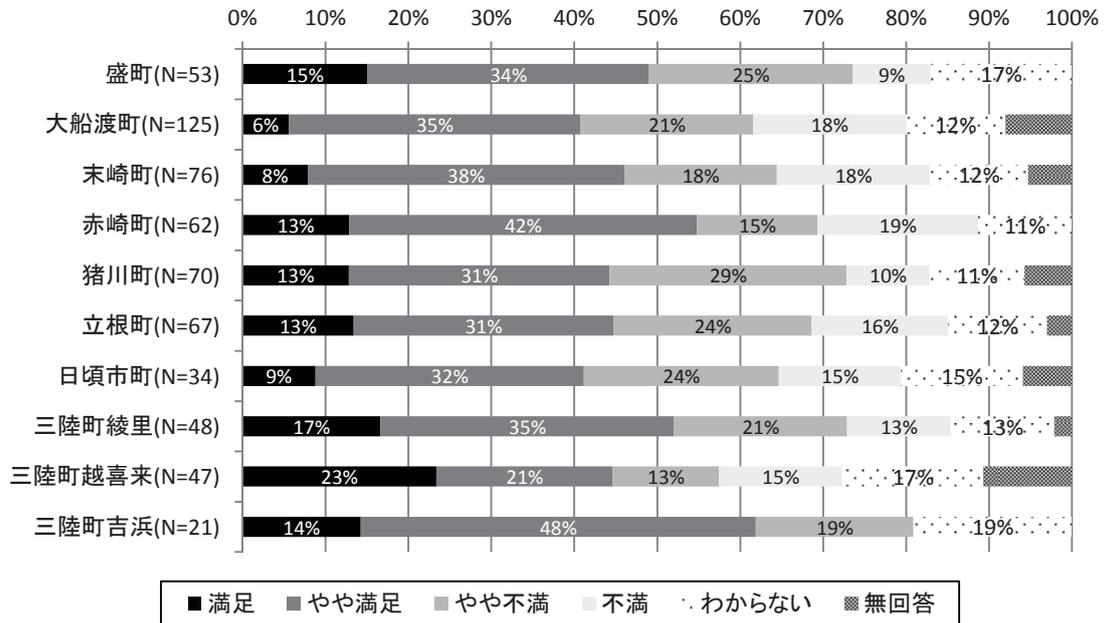
発災直後の応急対応段階における市行政の働きぶりをどう評価するか



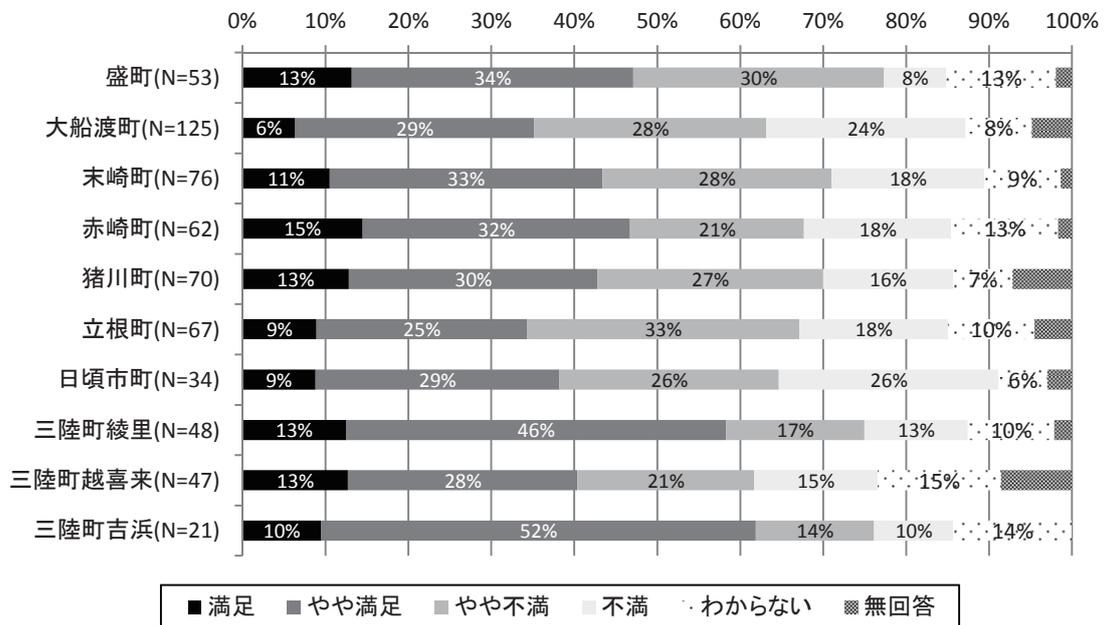
(2) 復旧段階

回答者全体（N=612）では、「満足」11.9%、「やや満足」34.8%、「やや不満」20.8%、「不満」15.0%、「わからない」12.9%、無回答4.6%である。地区別にみると、「満足」と「やや満足」をあわせた割合（回答者全体では46.7%）が大きいのは、三陸町吉浜、赤崎町、三陸町綾里、盛町である。「不満」と「やや不満」をあわせた割合（全体では35.8%）が高いのは、日頃市町、大船渡町、立根町、猪川町、末崎町である。

復旧段階における市行政の働きぶりをどう評価するか



復興段階における市行政の働きぶりをどう評価するか



(3) 復興段階

回答者全体 (N=612) では、「満足」10.8%、「やや満足」31.9%、「やや不満」26.0%、「不満」17.6%、「わからない」10.0%、無回答 3.8%である。地区別にみると、「満足」と「やや満足」をあわせた割合 (回答者全体では 42.7%) が大きいのは、三陸町吉浜、三陸町綾里である。「不満」と「やや不満」をあわせた割合 (全体では 43.6%) が大きいのは、

大船渡町、日頃市町、立根町である。(グラフは前頁)

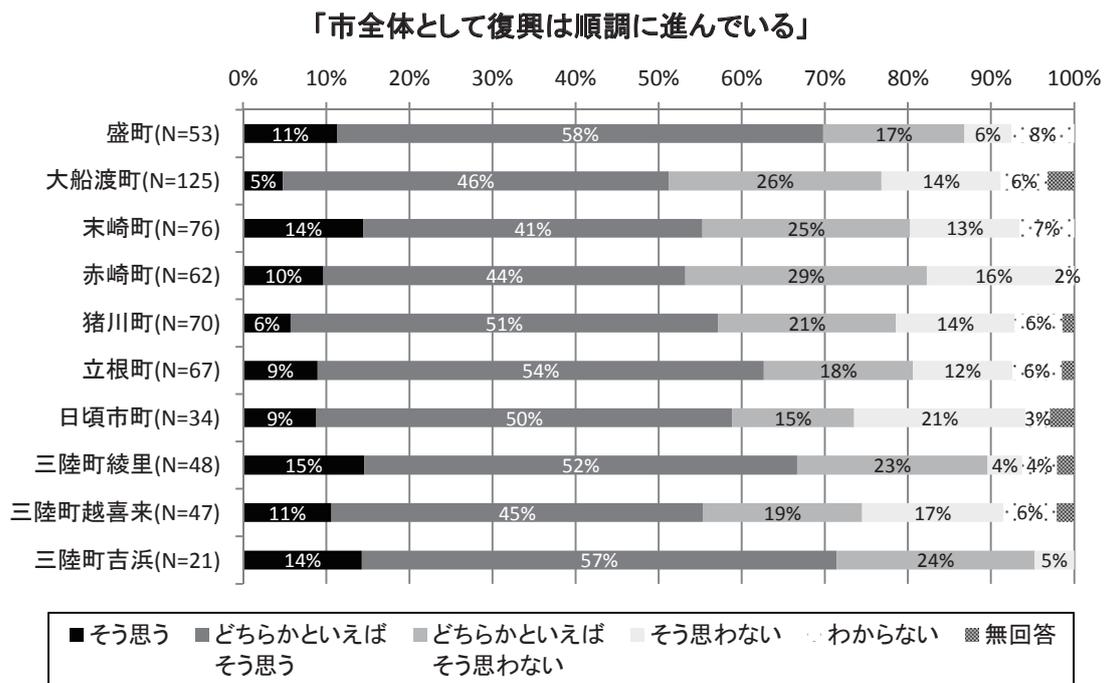
2. 復興事業に関する評価

現在進行中の復興事業について、「次にあげる意見について、あなたはどう思いますか」という質問文で、5項目を挙げて、それぞれ、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」、「わからない」の5件法で尋ねた。

2.1 復興事業の進捗状況の評価

(1) 「市全体として復興は順調に進んでいる」

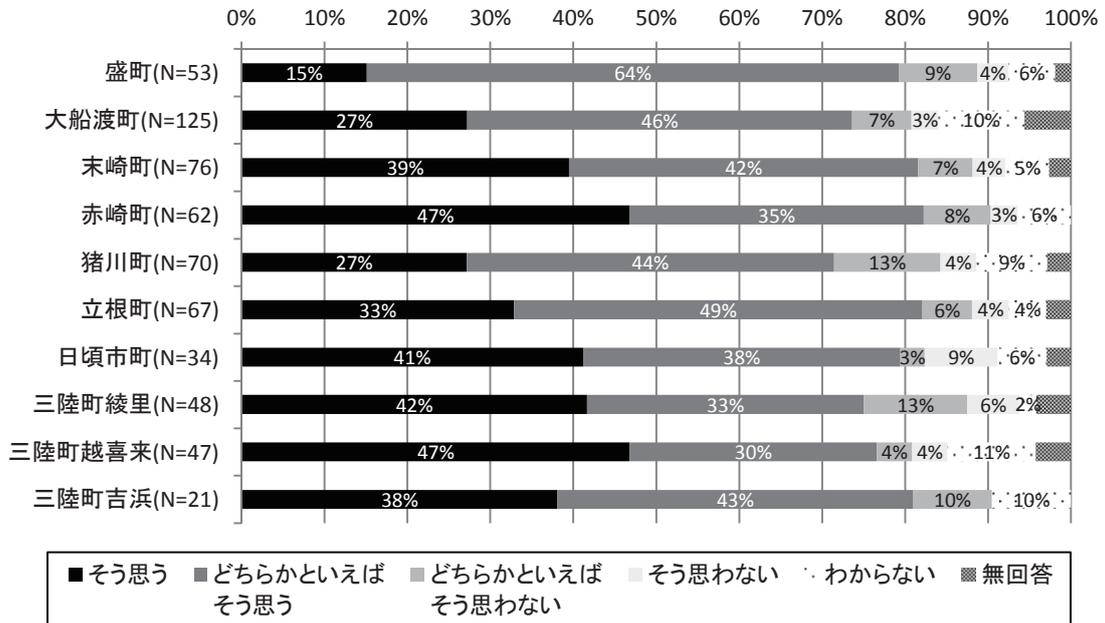
回答者全体(N=612)では、「そう思う」9.5%、「どちらかといえばそう思う」48.9%、「どちらかといえばそう思わない」22.4%、「そう思わない」12.7%、「わからない」5.1%、無回答1.5%である。地区別にみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた割合(全体では58.4%)が大きいのは、三陸町吉浜、盛町、三陸町綾里、立根町である。「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」をあわせた割合(全体では37.1%)が大きいのは、赤崎町、大船渡町、末崎町である。



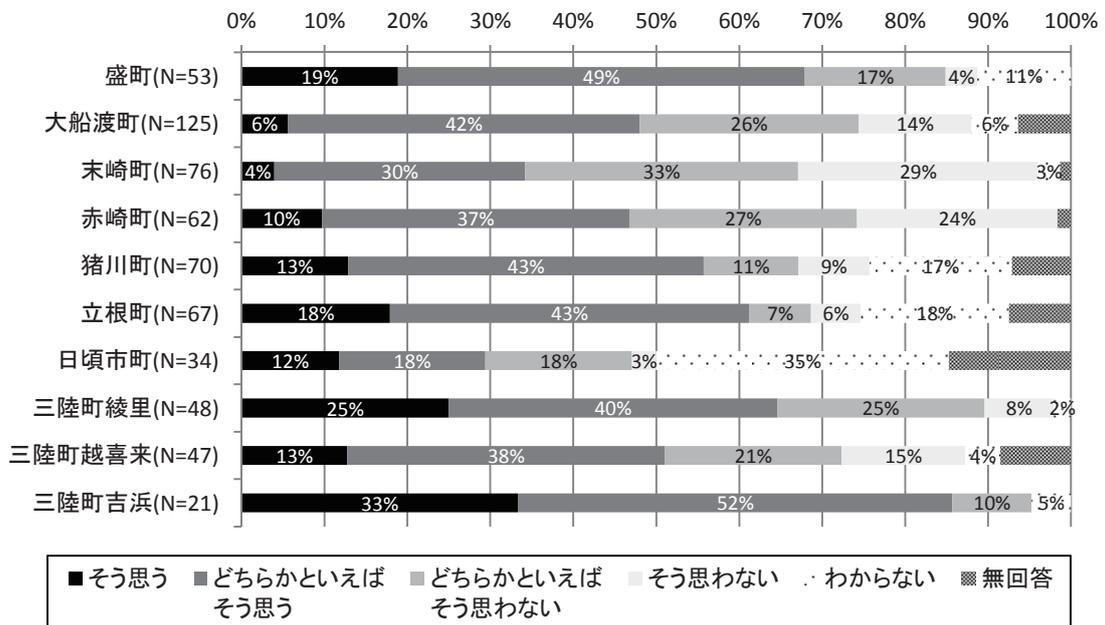
(2) 「復興の進み具合は地区・地域によってばらつきがある」

回答者全体(N=612)では、「そう思う」34.3%、「どちらかといえばそう思う」43.5%、「どちらかといえばそう思わない」7.8%、「そう思わない」4.2%、「わからない」7.0%、無回答3.1%である。地区別にみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた割合(全体では77.8%)が大きいのは、赤崎町、末崎町、三陸町吉浜、盛町である。「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」をあわせた割合(全体では12.2%)が大きいのは、猪川町、三陸町綾里である。

「復興の進み具合は地区・地域によってばらつきがある」



「自分の住んでいる地区では、復興は順調に進んでいる」



(3) 「自分の住んでいる地区では、復興は順調に進んでいる」

回答者全体 (N=612) では、「そう思う」12.4%、「どちらかといえばそう思う」39.9%、「どちらかといえばそう思わない」20.8%、「そう思わない」12.9%、「わからない」9.3%、無回答 4.7%である。地区別にみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた割合 (全体では 52.3%) がおおきいのは、三陸町吉浜、盛町、三陸町綾里、立根町、

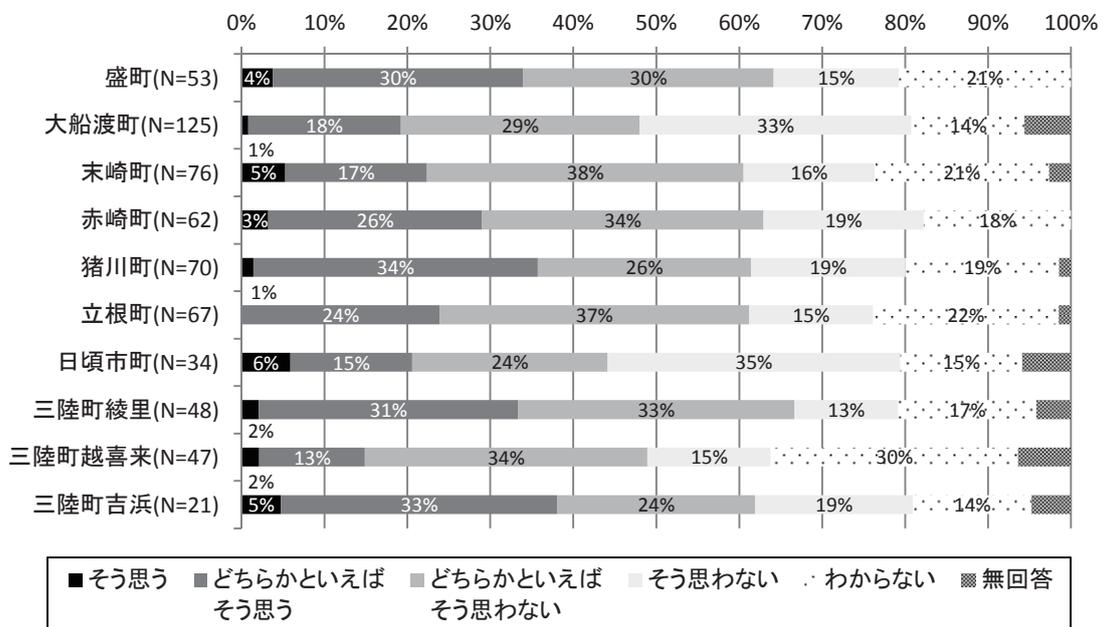
猪川町である、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」をあわせた割合（全体では33.7%）が高いのは、日頃市町、末崎町、赤崎町、大船渡町である。（グラフは前頁）

2.2 復興事業のガバナンスの評価

(1) 「市全体として、復興計画に、住民の意見が十分反映されている」

回答者全体（N=612）では、「そう思う」2.5%、「どちらかといえばそう思う」23.4%、「どちらかといえばそう思わない」31.5%、「そう思わない」20.8%、「わからない」18.8%、無回答3.1%である。地区別にみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた割合（全体では25.9%）が大きいのは、三陸町吉浜、猪川町、三陸町綾里、盛町赤崎町である、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」をあわせた割合（全体では52.3%）が大きいのは、大船渡町、末崎町、日頃市町である。

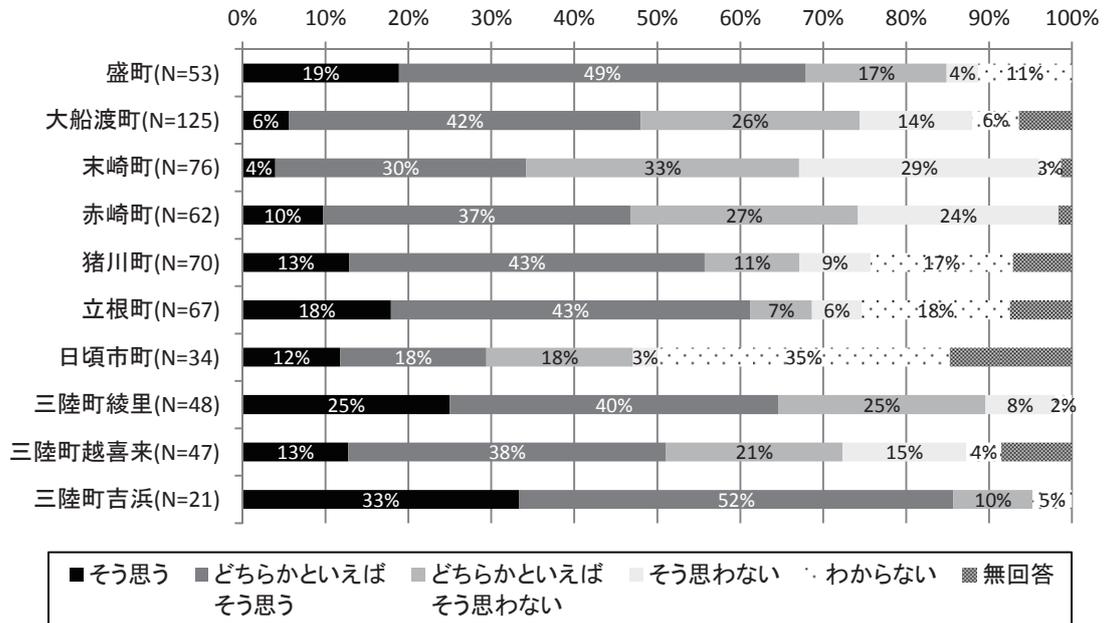
「市全体として、復興計画に住民の意見が十分反映されている」



(2) 「自分の住んでいる地区では、復興計画に、住民の意見が十分反映されている」

回答者全体（N=612）では、「そう思う」3.8%、「どちらかといえばそう思う」21.9%、「どちらかといえばそう思わない」23.7%、「そう思わない」18.8%、「わからない」27.8%、無回答4.1%である。地区別にみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた割合（全体では25.7%）が大きいのは、三陸町吉浜、三陸町綾里、三陸町越喜来、盛町、猪川町、赤崎町である、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」をあわせた割合（全体では46.6%）が大きいのは、末崎町、大船渡町である。

「自分の住んでいる地区では、復興は順調に進んでいる」



資 料

- ① 調査依頼状
- ② 質問紙
- ③ 単純集計表
- ④ 調査対象者向け報告書

「震災復興と地域自治に関する大船渡市民意識調査」のお願い

東日本大震災から5年半になります。被害を遭われた皆さま、関係者の皆さまに、心よりお見舞いを申し上げます。

このようなアンケートをご自宅にお送りする失礼を、どうかお許してください。

私どもは、巨大災害で大きな被害に遭った地域で、住民の声を反映させた政治や行政のしくみをどのようにつくり復興を進めていくのかを研究しています。大船渡市では、平成13(2001)年に旧三陸町と合併して、新しい地域づくりが進められてきました。この調査は、震災復興と地域自治のあり方について、大船渡市民の皆さまのご意見をうかがうもので、学術研究のための基礎資料を得ることをめざしています。

アンケートをお送りした皆さまは、大船渡市内在住の20～79歳の皆さまの中から、無作為抽出（くじ引きのような方法）で選ばせていただきました。お名前とご住所は、大船渡市選挙管理委員会の許可を得て、選挙人名簿抄本を閲覧させていただきました。

ご多用のところと存じますが、アンケートにご回答いただきまして、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、10月31日（月）までに、郵便ポストに投函していただきますよう、お願い申し上げます。

回答は無記名でお願いします。ご回答の内容は統計的に処理しますので、個人や世帯が特定されることは一切ありません。個人データの保護には万全を期します。郵送で使用したお名前とご住所は、研究終了後すみやかに廃棄いたします。

回答はもちろん任意ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力をいただけますよう、なにとぞよろしくお願いを申し上げます。

「東日本大震災の復旧・復興において「平成の大合併」の自治体再編がもたらした影響の検証」

（平成28(2016)年度 公益財団法人 JR 西日本あんしん社会財団 公募助成研究）

研究代表者 滋賀県立大学人間文化学部准教授 丸山真央

◇お問い合わせ先◇ 滋賀県立大学人間文化学部 丸山研究室

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500

電話 0749-28-8438 電子メール maruyama.ma@shc.usp.ac.jp

☞裏面もごらんください

【よくあるご質問】

Q. どうして私の名前や住所を知ったのか？

A. 大船渡市選挙管理委員会の許可を得て、選挙人名簿抄本でお名前とご住所を閲覧させていただきました。法律で、公益性が高い「政治又は選挙に関する」調査研究などの目的に限って、選挙人名簿抄本を閲覧することが認められています（公職選挙法第28条の3）。今回の調査はそれに該当するものです。

Q. なぜ私が選ばれたのか？

A. 大船渡市内在住の20～79歳の皆さまの中から、「等間隔無作為抽出法」という、くじ引きに似た方法で約1000名の方を選ばせていただきました。統計学の理論に基づく方法で、「男女」や「年齢」などの基準を一切設けることなくランダムに選ぶことによって、市民の皆さまのご意見の傾向を正確に捉えることができます。

Q. 個人情報やプライバシーに関する質問が含まれているが？

A. 皆さまのご回答の傾向を分析するうえで、個人や世帯に関する最低限の情報が必要です。ご回答は**無記名**でお願いしており、ご回答の内容は統計的に処理します。**集計結果から個人や世帯が特定されることはありません**。調査は、関連法令や関係学会の倫理綱領等に則って実施します。ご理解のほどお願いを申し上げます。

Q. 回答した内容が誰かに知られることはないのか？

A. ご返送いただくアンケート用紙は、**研究目的以外で使用することはありません**。調査は公益財団法人の研究助成を受けて実施していますが、アンケートや電子データは研究者以外が取り扱うことはありません。**ご回答の内容が、行政機関や民間企業など外部に知られることはありません**。アンケート用紙と電子データは、セキュリティ対策を多重に施して厳重に管理し、研究終了後、適切に廃棄します。

Q. 答えたくない質問が含まれているが？

A. お答えいただけない質問は、**無回答のまま、次に進んでください**。すべてお答えいただけなくても、ご回答は貴重な学術資料となりますので、ご返送ください。

Q. なぜ大船渡市で調査するのか？

A. 大船渡市は、震災の10年前に三陸町と合併しましたが、これは「平成の大合併」の中で東北初の合併でした。復興と地域自治を考えるうえで、大船渡市の経験は、よそにない貴重なものであり、学ばせていただくものが多数あると考えています。

Q. 調査結果が知りたい

A. 調査結果は、研究論文で公表するほか、報告書を刊行します。報告書をご希望の方は、アンケート末尾の記入欄または別紙でお名前とご住所をお知らせください。

震災復興と地域自治に関する大船渡市民意識調査

「東日本大震災の復興・復興において「平成の大合併」の自治体再編がもたらした影響の検証」研究プロジェクト

(平成28(2016)年度 公益財団法人 JR 西日本あんしん社会財団 公募助成研究)

研究代表者：滋賀県立大学人間文化学部准教授 丸山真央

◆ご回答にあたって◆

- ☆ 封筒の宛名のご本人がお答えください。
- ☆ 質問文に沿って、あてはまる番号に○をつけるか、数字等を記入してください。
- ☆ 「旧大船渡市」「旧三陸町」は、平成13(2001)年の合併以前のものを指します。
- ☆ どなたがどのように回答したか一切わからない方法で集計します。ご回答が外部に知られることはありませんので、ありのままをお答えください。
- ☆ 答えたくない質問は、無記入のまま先にお進みください。
- ☆ ご不明な点がありましたら、以下までお問い合わせください。

調査事務局：滋賀県立大学人間文化学部 丸山研究室

電話 0749-28-8438

電子メール maruyama.ma@shc.usp.ac.jp

◇はじめに、ふだんの暮らしについてうかがいます

問1 現在のお住まいは、どちらですか。(あてはまる番号にひとつだけ○)

- | | | | | | |
|--------|---------|----------|----------|------------|-------|
| 1 盛町 | 2 大船渡町 | 3 末崎町 | 4 赤崎町 | 5 猪川町 | 6 立根町 |
| 7 日頃市町 | 8 三陸町綾里 | 9 三陸町越喜来 | 10 三陸町吉浜 | 11 その他 () | |

問2 あなたのおたくでは、次のことをどこでしていますか。最も頻繁にするとところを点線の枠内から選んで、ひとつずつ番号を記入してください。

(a)日用雑貨・食料品の購入

(b)電化製品・家具の購入

(c)病院・診療所の利用

- | | | | | |
|-----------------------|---------|-------------|------------|-------|
| 1 旧大船渡市内 | 2 旧三陸町内 | 3 陸前高田市・住田町 | 4 釜石市 | 5 遠野市 |
| 6 その他の岩手県内 | 7 気仙沼市 | 8 その他の宮城県内 | 9 岩手・宮城県以外 | |
| 10 移動販売・宅配・通販(ネットも含む) | 11 その他 | | | |

問3 あなたは、自動車・バイクのどちらかを運転しますか。(あてはまる番号にひとつだけ○)

- | | |
|--------|---------|
| 1 運転する | 0 運転しない |
|--------|---------|

◇東日本大震災と復興についてうかがいます

問 4 東日本大震災のあと、あなたのおたくでは、次の方から、支援をもらった（作業を手伝ってもらった、物資や義援金をもらった等） ことはありましたか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

1 同じ地域(集落)に住む親戚 (マキ) の方	2 よその地域(集落)に住む親戚の方
3 同じ地域(集落)の近隣住民の方	4 よその地域(集落)に住む友人・知人の方
5 ボランティアにきた方 (NPO や NGO、福祉団体なども含む)	6 その他 (具体的に：)
7 とくに支援を受けなかった	

問 5 次にあげる事柄について、どのように感じましたか。(それぞれあてはまる番号にひとつずつ○)

(1) 地震・津波が発生した直後の	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
(a) 国の働きぶり	1	2	3	4	9
(b) 岩手県の働きぶり	1	2	3	4	9
(c) 大船渡市の働きぶり	1	2	3	4	9

(2) 震災後、インフラが復旧しはじめたころの	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
(a) 国の働きぶり	1	2	3	4	9
(b) 岩手県の働きぶり	1	2	3	4	9
(c) 大船渡市の働きぶり	1	2	3	4	9

(3) 復興事業における	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
(a) 国の働きぶり	1	2	3	4	9
(b) 岩手県の働きぶり	1	2	3	4	9
(c) 大船渡市の働きぶり	1	2	3	4	9

問 6 大船渡市の復興計画における4つの分野の取り組みを、どのように評価しますか。(それぞれあてはまる番号にひとつずつ○)

	進んでいる	やや進んでいる	あまり進んでいない	進んでいない
(a) 市民生活の復興	1	2	3	4
(b) 産業・経済の復興	1	2	3	4
(c) 都市基盤 (インフラ) の復興	1	2	3	4
(d) 防災まちづくり	1	2	3	4

問7 次にあげる意見について、あなたはどのように思いますか。(それぞれあてはまる番号にひとつずつ○)

	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
(a) 市全体として、復興は順調に進んでいる	1	2	3	4	9
(b) 市全体として、復興計画に、住民の意見が十分反映されている	1	2	3	4	9
(c) 復興の進み具合は地区・地域によってばらつきがある	1	2	3	4	9
(d) 自分の住んでいる地区では、復興は順調に進んでいる	1	2	3	4	9
(e) 自分の住んでいる地区では、復興計画に、住民の意見が十分反映されている	1	2	3	4	9

◇少し古い話になりますが、平成13(2001)年の旧大船渡市と旧三陸町の合併についてうかがいます

問8 あなたは、この市町村合併をどのように評価しますか。(あてはまる番号にひとつだけ○)

1 評価する 2 ある程度評価する 3 ほとんど評価しない 4 評価しない

問9 合併のとき(2001(平成13)年11月15日)、あなたは現在の大船渡市内に住んでいましたか。(あてはまる番号にひとつだけ○)

1 住んでいた (→問9-1, 問9-2へ) 2 住んでいなかった (→次ページの間10へ)

問9-1 【問9で「1 住んでいた」と答えた方だけにうかがいます】

合併前と比べて、次のことについて、あなたのお考えに近いのはどれですか。(それぞれあてはまる番号にひとつずつ○)

	そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	わからない
(a) 行政サービスが充実した	1	2	3	9
(b) 公共施設が利用しやすくなった	1	2	3	9
(c) 地域のイメージアップが図られた	1	2	3	9
(d) 自治体への住民参加が広がった	1	2	3	9
(e) 首長や議員が身近でなくなった	1	2	3	9
(f) 知らない行政職員ばかりになった	1	2	3	9

問9-2 【問9で「1 住んでいた」と答えた方だけにうかがいます】

合併前と比べて行政の仕事はどう変わりましたか。(それぞれあてはまる番号にひとつずつ○)

	よくなった	変わらない	悪くなった	わからない
(a) 住民票・戸籍などの窓口サービス	1	2	3	9
(b) ごみの収集・処理	1	2	3	9
(c) 生活道路の整備	1	2	3	9
(d) 都市基盤の整備	1	2	3	9
(e) 小中学校	1	2	3	9
(f) 幼稚園・保育所	1	2	3	9
(g) 町内会・自治会への支援	1	2	3	9
(h) 産業の振興	1	2	3	9
(i) 健康・福祉施策	1	2	3	9

◇ここからは再び、すべての方に、地域や社会についてのご意見をうかがいます

問10 現在、大船渡市としての一体感を感じますか。(あてはまる番号にひとつだけ○)

1 感じる	2 どちらかといえば感じる	3 どちらともいえない
4 どちらかといえば感じない	5 感じない	

問11 次のところに愛着を感じますか。(それぞれあてはまる番号にひとつずつ○)

	感じる	やや感じる	あまり感じない	感じない
(a) お住まいの町内や集落	1	2	3	4
(b) お住まいの地区 (盛町、三陸町綾里など)	1	2	3	4
(c) 現在の大船渡市	1	2	3	4
(d) 【旧大船渡市地域にお住まいの方のみ】 合併前の旧大船渡市	1	2	3	4
(e) 【旧三陸町地域にお住まいの方のみ】 合併前の旧三陸町	1	2	3	4

問 12 あなたは、次の見方について、AとBのどちらの意見に近いですか。(それぞれあてはまる番号にひとつずつ〇)

【Aの意見】	Aに近い	どちらかといえばAに近い	どちらかといえばBに近い	Bに近い	【Bの意見】
(a) 小さな市町村の行政がすべての課題に対応するのは困難なので、合併によって、広域的な行政を進めるべきだ	1	2	3	4	身近な課題は小さな市町村のなかで解決するのが一番よいので、できる限り市町村独自で行政を進めていくべきだ
(b) 合併しても旧市町村の特色を残す行政をするべきだ	1	2	3	4	合併したら新市で一体の行政をすべきだ
(c) 行政の財政的な負担には限界があるので、集落移転や統合を押し進めるのがよい	1	2	3	4	福祉バスなどを充実させ、集落を今の場所で維持することを最優先するのがよい

問 13 社会のあり方について、あなたは、AとBのどちらの意見に近いですか。(それぞれあてはまる番号にひとつずつ〇)

【Aの意見】	Aに近い	どちらかといえばAに近い	どちらかといえばBに近い	Bに近い	【Bの意見】
(a) 自分のことは自分で面倒をみるように、個人が責任をもつ社会をめざすべきだ	1	2	3	4	生活に困っている人たちに手厚く福祉を提供する社会をめざすべきだ
(b) 個人の努力を促すために所得格差をもっとつけるべきだ	1	2	3	4	所得をもっと平等にすべきだ
(c) 競争は、社会の活力や勤勉のもとになる	1	2	3	4	競争は、格差を拡大させるなど、問題のほうが多い

◇最後に、あなたご自身についてうかがいます

問 14 あなたの性別にひとつだけ○をつけてください。また、年齢を数字でご記入ください。

1 男性 2 女性 満 歳

問 15 あなたは、中学校を卒業したときに、どちらに住んでいましたか。(あてはまる番号にひとつだけ○)

1 旧大船渡市内 2 旧三陸町内 3 陸前高田市・住田町 4 釜石市 5 遠野市
6 1～5 以外の岩手県内 7 気仙沼市 8 7 以外の宮城県内 9 岩手・宮城県以外

問 16 あなたが最後に卒業した学校 (在学中を含む) はどちらですか。(あてはまる番号にひとつだけ○)

(※旧制の場合は「その他」に具体的にお書きください)

1 中学校 2 高校 3 短大・高専、専門学校 4 大学・大学院 5 その他 ()

問 17 同居しているご家族は、あなたを含めて、全員で何人でしょうか。数字でご記入ください。

あなたを含めて 計 人

問 18 あなたのお住まいは、東日本大震災でどのような被害を受けましたか。(あてはまる番号にひとつだけ○)

1 全壊 2 大規模半壊 3 半壊 4 一部損壊 5 被害はなかった

問 19 あなたは、今のところに何年お住まいですか。数字でご記入ください。

通算 年

問 20 あなたの現在のお住まいは、次のどれですか。(あてはまる番号にひとつだけ○)

1 持家 (一戸建て) 2 借家・賃貸住宅 3 公営住宅 (災害公営住宅を含む)
4 社宅・寮・官舎 5 応急仮設住宅 6 親戚・知人宅 7 その他 ()

問 21 あなたのお仕事は次のどれですか。複数あるときは、収入の最も多いものをお答えください。(あてはまる番号にひとつだけ○)

- | | | |
|----------------------------------|--|-----------------------------|
| 1 無職 (→問 22 へ) | 2 家事 (→問 22 へ) | 3 会社経営・役員 (→問 21-1, 21-2 へ) |
| 4 常雇・フルタイムの雇用者 (→問 21-1, 21-2 へ) | 5 非常勤・臨時・派遣・パート・アルバイト・内職など (→問 21-1, 21-2 へ) | |
| 6 農林漁業 (→問 21-1, 21-2 へ) | 7 農林漁業以外の自営業・家族従業員・自由業 (→問 21-1, 21-2 へ) | |

問 21-1 【問 21 で 3～7 と答えた方だけにかがいます】

お仕事の種類は次のどれですか。(あてはまる番号にひとつだけ○)

- | | |
|-------------------------------------|----------------------------|
| 1 専門職 (教員、医師、看護師、技術者など) | 2 管理職 (会社役員、課長以上の管理職、議員など) |
| 3 事務職 (総務・企画・経理事務、コンピューターのオペレーターなど) | 4 販売職 (小売店、外交員など) |
| 5 生産工程・労務、保安職 (工場・土木作業、運転手、警察官など) | |
| 6 サービス職 (料理人、旅館、理容師、ウエイトレスなど) | 7 農林漁業 (農業、山林労働、漁業、造園など) |

問 21-2 【問 21 で 3～7 と答えた方だけにかがいます】

お仕事の場所はどちらですか。(あてはまる番号にひとつだけ○)

- | | | | | |
|----------|---------------|---------|-------------|------------|
| 0 自宅・敷地内 | 1 旧大船渡市内 | 2 旧三陸町内 | 3 陸前高田市・住田町 | 4 釜石市 |
| 5 遠野市 | 6 1～5 以外の岩手県内 | 7 気仙沼市 | 8 7 以外の宮城県内 | 9 岩手・宮城県以外 |

問 22 【すべての方にかがいます】 復興と地域の将来について、ご意見をお聞かせください。

これで終わりです。長時間にわたり、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、10月31日(月)までに郵便ポストに投函してください。(切手不要)

◇調査報告書 (2017 年刊行予定、無償) の送付をご希望の方は、お名前とご住所をご記入ください。

お名前	
ご住所	〒

※こちらにご記入いただいたお名前とご住所は、調査報告書の送付以外には使用しません。

単純集計表

◇はじめに、ふだんの暮らしについてうかがいます

問 1 現在のお住まいは、どちらですか。(あてはまる番号にひとつだけ○)

		度数	%	有効%
有効	1 盛町	53	8.7	8.7
	2 大船渡町	125	20.4	20.5
	3 末崎町	76	12.4	12.5
	4 赤崎町	62	10.1	10.2
	5 猪川町	70	11.4	11.5
	6 立根町	67	10.9	11.0
	7 日頃市町	34	5.6	5.6
	8 三陸町綾里	48	7.8	7.9
	9 三陸町越喜来	47	7.7	7.7
	10 三陸町吉浜	21	3.4	3.4
	11 その他	6	1.0	1.0
	合計	609	99.5	100.0
欠損値	99 無回答	3	.5	
合計		612	100.0	

問 2 あなたのおたくでは、次のことをどこでしていますか。最も頻繁にするとところを点線の枠内から選んで、ひとつずつ番号を記入してください。

(a) 日用雑貨・食料品の購入

		度数	%	有効%
有効	1 旧大船渡市内	551	90.0	91.4
	2 旧三陸町内	9	1.5	1.5
	3 陸前高田市・住田町	8	1.3	1.3
	4 釜石市	3	.5	.5
	5 遠野市	1	.2	.2
	6 その他の岩手県内	15	2.5	2.5
	7 気仙沼市	2	.3	.3
	9 岩手・宮城県以外	1	.2	.2
	10 移動販売・宅配・通販 (ネットも含む)	11	1.8	1.8
	11 その他	2	.3	.3
	合計	603	98.5	100.0
欠損値	99 無回答	9	1.5	
合計		612	100.0	

(b) 電化製品・家具の購入

		度数	%	有効%
有効	1 旧大船渡市内	490	80.1	82.6
	2 旧三陸町内	2	.3	.3
	3 陸前高田市・住田町	2	.3	.3
	4 釜石市	1	.2	.2
	5 遠野市	1	.2	.2
	6 その他の岩手県内	52	8.5	8.8
	7 気仙沼市	2	.3	.3
	8 その他の宮城県内	2	.3	.3
	9 岩手・宮城県以外	2	.3	.3
	10 移動販売・宅配・通販 (ネットも含む)	38	6.2	6.4
	11 その他	1	.2	.2
	合計	593	96.9	100.0
欠損値	99 無回答	19	3.1	
合計		612	100.0	

(c) 病院・診療所の利用

		度数	%	有効%
有効	1 旧大船渡市内	524	85.6	88.5
	2 旧三陸町内	27	4.4	4.6
	3 陸前高田市・住田町	3	.5	.5
	4 釜石市	4	.7	.7
	5 遠野市	1	.2	.2
	6 その他の岩手県内	22	3.6	3.7
	7 気仙沼市	4	.7	.7
	8 その他の宮城県内	1	.2	.2
	9 岩手・宮城県以外	4	.7	.7
	11 その他	2	.3	.3
	合計	592	96.7	100.0
欠損値	99 無回答	20	3.3	
合計		612	100.0	

問 3 あなたは、自動車・バイクのどちらかを運転しますか。(あてはまる番号にひとつだけ○)

		度数	%	有効%
有効	0 運転しない	91	14.9	15.0
	1 運転する	515	84.2	85.0
	合計	606	99.0	100.0
欠損値	99 無回答	6	1.0	
合計		612	100.0	

問4 東日本大震災のあと、あなたのおたくでは、次の方から、支援をもらった（作業を手伝ってもらった、物資や義援金をもらった等）ことはありましたか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

1 同じ地域(集落)に住む親戚(マキ)の方

		度数	%	有効%
有効	0 なし	464	75.8	78.5
	1 あり	127	20.8	21.5
	合計	591	96.6	100.0
欠損値	99 無回答	21	3.4	
合計		612	100.0	

2 よその地域(集落)に住む親戚の方

		度数	%	有効%
有効	0 なし	365	59.6	61.8
	1 あり	226	36.9	38.2
	合計	591	96.6	100.0
欠損値	99 無回答	21	3.4	
合計		612	100.0	

3 同じ地域(集落)の近隣住民の方

		度数	%	有効%
有効	0 なし	490	80.1	82.9
	1 あり	101	16.5	17.1
	合計	591	96.6	100.0
欠損値	99 無回答	21	3.4	
合計		612	100.0	

4 よその地域(集落)に住む友人・知人の方

		度数	%	有効%
有効	0 なし	409	66.8	69.2
	1 あり	182	29.7	30.8
	合計	591	96.6	100.0
欠損値	99 無回答	21	3.4	
合計		612	100.0	

5 ボランティアにきた方(NPO や NGO、福祉団体なども含む)

		度数	%	有効%
有効	0 なし	480	78.4	81.2
	1 あり	111	18.1	18.8
	合計	591	96.6	100.0
欠損値	99 無回答	21	3.4	
合計		612	100.0	

6 その他

		度数	%	有効%
有効	0 なし	546	89.2	92.4
	1 あり	45	7.4	7.6
	合計	591	96.6	100.0
欠損値	99 無回答	21	3.4	
合計		612	100.0	

7 とくに支援を受けなかった

		度数	%	有効%
有効	0 なし	352	57.5	59.6
	1 あり	239	39.1	40.4
	合計	591	96.6	100.0
欠損値	99 無回答	21	3.4	
合計		612	100.0	

問5 次にあげる事柄について、どのように感じましたか。(それぞれあてはまる番号にひとつずつ○)

(1) 地震・津波が発生した直後の

(a) 国の働きぶり

		度数	%	有効%
有効	1 満足	72	11.8	12.1
	2 やや満足	169	27.6	28.5
	3 やや不満	105	17.2	17.7
	4 不満	105	17.2	17.7
	9 わからない	142	23.2	23.9
	合計	593	96.9	100.0
欠損値	99 無回答	19	3.1	
合計		612	100.0	

(b) 岩手県の働きぶり

		度数	%	有効%
有効	1 満足	64	10.5	10.8
	2 やや満足	194	31.7	32.8
	3 やや不満	109	17.8	18.4
	4 不満	86	14.1	14.5
	9 わからない	139	22.7	23.5
	合計	592	96.7	100.0
欠損値	99 無回答	20	3.3	
合計		612	100.0	

(c) 大船渡市の働きぶり

		度数	%	有効%
有効	1 満足	82	13.4	13.8
	2 やや満足	201	32.8	33.8
	3 やや不満	103	16.8	17.3
	4 不満	107	17.5	18.0
	9 わからない	101	16.5	17.0
	合計	594	97.1	100.0
欠損値	99 無回答	18	2.9	
合計		612	100.0	

(2) 震災後、インフラが復旧しはじめたころの

(a) 国の働きぶり

		度数	%	有効%
有効	1 満足	46	7.5	8.0
	2 やや満足	188	30.7	32.9
	3 やや不満	130	21.2	22.7
	4 不満	104	17.0	18.2
	9 わからない	104	17.0	18.2
	合計	572	93.5	100.0
欠損値	99 無回答	40	6.5	
合計		612	100.0	

(b) 岩手県の働きぶり

		度数	%	有効%
有効	1 満足	51	8.3	8.9
	2 やや満足	205	33.5	35.7
	3 やや不満	133	21.7	23.1
	4 不満	84	13.7	14.6
	9 わからない	102	16.7	17.7
	合計	575	94.0	100.0
欠損値	99 無回答	37	6.0	
合計		612	100.0	

(c) 大船渡市の働きぶり

		度数	%	有効%
有効	1 満足	73	11.9	12.5
	2 やや満足	213	34.8	36.5
	3 やや不満	127	20.8	21.7
	4 不満	92	15.0	15.8
	9 わからない	79	12.9	13.5
	合計	584	95.4	100.0
欠損値	99 無回答	28	4.6	
合計		612	100.0	

(3) 復興事業における

(a) 国の働きぶり

		度数	%	有効%
有効	1 満足	51	8.3	8.7
	2 やや満足	177	28.9	30.4
	3 やや不満	141	23.0	24.2
	4 不満	125	20.4	21.4
	9 わからない	89	14.5	15.3
	合計	583	95.3	100.0
欠損値	99 無回答	29	4.7	
合計		612	100.0	

(b) 岩手県の働きぶり

		度数	%	有効%
有効	1 満足	59	9.6	10.1
	2 やや満足	197	32.2	33.8
	3 やや不満	158	25.8	27.1
	4 不満	93	15.2	16.0
	9 わからない	76	12.4	13.0
	合計	583	95.3	100.0
欠損値	99 無回答	29	4.7	
合計		612	100.0	

(c) 大船渡市の働きぶり

		度数	%	有効%
有効	1 満足	66	10.8	11.2
	2 やや満足	195	31.9	33.1
	3 やや不満	159	26.0	27.0
	4 不満	108	17.6	18.3
	9 わからない	61	10.0	10.4
	合計	589	96.2	100.0
欠損値	99 無回答	23	3.8	
合計		612	100.0	

問 6 大船渡市の復興計画における4つの分野の取り組みを、どのように評価しますか。(それぞれあてはまる番号にひとつずつ○)

(a) 市民生活の復興

		度数	%	有効%
有効	1 進んでいる	104	17.0	17.6
	2 やや進んでいる	324	52.9	54.7
	3 あまり進んでいない	149	24.3	25.2
	4 進んでいない	15	2.5	2.5
	合計	592	96.7	100.0
欠損値	99 無回答	20	3.3	
合計		612	100.0	

(b) 産業・経済の復興

		度数	%	有効%
有効	1 進んでいる	68	11.1	11.7
	2 やや進んでいる	287	46.9	49.2
	3 あまり進んでいない	192	31.4	32.9
	4 進んでいない	36	5.9	6.2
	合計	583	95.3	100.0
欠損値	99 無回答	29	4.7	
合計		612	100.0	

(c) 都市基盤（インフラ）の復興

		度数	%	有効%
有効	1 進んでいる	59	9.6	10.1
	2 やや進んでいる	262	42.8	45.0
	3 あまり進んでいない	219	35.8	37.6
	4 進んでいない	42	6.9	7.2
	合計	582	95.1	100.0
欠損値	99 無回答	30	4.9	
合計		612	100.0	

(d) 防災まちづくり

		度数	%	有効%
有効	1 進んでいる	49	8.0	8.3
	2 やや進んでいる	258	42.2	43.8
	3 あまり進んでいない	223	36.4	37.9
	4 進んでいない	59	9.6	10.0
	合計	589	96.2	100.0
欠損値	99 無回答	23	3.8	
合計		612	100.0	

問7 次にあげる意見について、あなたはどのように思いますか。(それぞれあてはまる番号にひとつずつ○)

(a) 市全体として、復興は順調に進んでいる

		度数	%	有効%
有効	1 そう思う	58	9.5	9.6
	2 どちらかといえばそう思う	299	48.9	49.6
	3 どちらかといえばそう思わない	137	22.4	22.7
	4 そう思わない	78	12.7	12.9
	9 わからない	31	5.1	5.1
	合計	603	98.5	100.0
欠損値	99 無回答	9	1.5	
合計		612	100.0	

(b) 市全体として、復興計画に、住民の意見が十分反映されている

		度数	%	有効%
有効	1 そう思う	15	2.5	2.5
	2 どちらかといえばそう思う	143	23.4	24.1
	3 どちらかといえばそう思わない	193	31.5	32.5
	4 そう思わない	127	20.8	21.4
	9 わからない	115	18.8	19.4
	合計	593	96.9	100.0
欠損値	99 無回答	19	3.1	
合計		612	100.0	

(c) 復興の進み具合は地区・地域によってばらつきがある

		度数	%	有効%
有効	1 そう思う	210	34.3	35.4
	2 どちらかといえばそう思う	266	43.5	44.9
	3 どちらかといえばそう思わない	48	7.8	8.1
	4 そう思わない	26	4.2	4.4
	9 わからない	43	7.0	7.3
	合計	593	96.9	100.0
欠損値	99 無回答	19	3.1	
合計		612	100.0	

(d) 自分の住んでいる地区では、復興は順調に進んでいる

		度数	%	有効%
有効	1 そう思う	76	12.4	13.0
	2 どちらかといえばそう思う	244	39.9	41.9
	3 どちらかといえばそう思わない	127	20.8	21.8
	4 そう思わない	79	12.9	13.6
	9 わからない	57	9.3	9.8
	合計	583	95.3	100.0
欠損値	99 無回答	29	4.7	
合計		612	100.0	

(e) 自分の住んでいる地区では、復興計画に、住民の意見が十分反映されている

		度数	%	有効%
有効	1 そう思う	23	3.8	3.9
	2 どちらかといえばそう思う	134	21.9	22.8
	3 どちらかといえばそう思わない	145	23.7	24.7
	4 そう思わない	115	18.8	19.6
	9 わからない	170	27.8	29.0
	合計	587	95.9	100.0
欠損値	99 無回答	25	4.1	
合計		612	100.0	

◇少し古い話になりますが、平成13(2001)年の旧大船渡市と旧三陸町の合併についてうかがいます

問8 あなたは、この市町村合併をどのように評価しますか。(あてはまる番号にひとつだけ○)

		度数	%	有効%
有効	1 評価する	147	24.0	25.3
	2 ある程度評価する	296	48.4	50.9
	3 ほとんど評価しない	94	15.4	16.2
	4 評価しない	44	7.2	7.6
	合計	581	94.9	100.0
欠損値	99 無回答	31	5.1	
合計		612	100.0	

問9 合併のとき(2001(平成13)年11月15日)、あなたは現在の大船渡市内に住んでいましたか。(あてはまる番号にひとつだけ○)

		度数	%	有効%
有効	1 住んでいた	526	85.9	85.9
	2 住んでいなかった	86	14.1	14.1
	合計	612	100.0	100.0

問 9-1 【問 9 で「1 住んでいた」と答えた方だけ
 にかがいます】合併前と比べて、次のこと
 について、あなたのお考えに近いのはどれで
 すか。(それぞれあてはまる番号にひとつずつ
 ○)

(a) 行政サービスが充実した

		度数	%	有効%
有効	1 そう思う	50	8.2	9.8
	2 どちらともいえない	241	39.4	47.2
	3 そう思わない	133	21.7	26.0
	9 わからない	87	14.2	17.0
	合計	511	83.5	100.0
欠損値	88 非該当	86	14.1	
	99 無回答	15	2.5	
	合計	101	16.5	
合計		612	100.0	

(b) 公共施設が利用しやすくなった

		度数	%	有効%
有効	1 そう思う	76	12.4	14.9
	2 どちらともいえない	206	33.7	40.4
	3 そう思わない	147	24.0	28.8
	9 わからない	81	13.2	15.9
	合計	510	83.3	100.0
欠損値	88 非該当	86	14.1	
	99 無回答	16	2.6	
	合計	102	16.7	
合計		612	100.0	

(c) 地域のイメージアップが図られた

		度数	%	有効%
有効	1 そう思う	99	16.2	19.6
	2 どちらともいえない	187	30.6	37.0
	3 そう思わない	140	22.9	27.7
	9 わからない	80	13.1	15.8
	合計	506	82.7	100.0
欠損値	88 非該当	86	14.1	
	99 無回答	20	3.3	
	合計	106	17.3	
合計		612	100.0	

(d) 自治体への住民参加が広がった

		度数	%	有効%
有効	1 そう思う	63	10.3	12.5
	2 どちらともいえない	171	27.9	34.0
	3 そう思わない	173	28.3	34.4
	9 わからない	96	15.7	19.1
	合計	503	82.2	100.0
欠損値	88 非該当	86	14.1	
	99 無回答	23	3.8	
	合計	109	17.8	
合計		612	100.0	

(e) 首長や議員が身近でなくなった

		度数	%	有効%
有効	1 そう思う	89	14.5	17.6
	2 どちらともいえない	173	28.3	34.2
	3 そう思わない	137	22.4	27.1
	9 わからない	107	17.5	21.1
	合計	506	82.7	100.0
欠損値	88 非該当	86	14.1	
	99 無回答	20	3.3	
	合計	106	17.3	
合計		612	100.0	

(f) 知らない行政職員ばかりになった

		度数	%	有効%
有効	1 そう思う	81	13.2	15.9
	2 どちらともいえない	180	29.4	35.3
	3 そう思わない	140	22.9	27.5
	9 わからない	109	17.8	21.4
	合計	510	83.3	100.0
欠損値	88 非該当	86	14.1	
	99 無回答	16	2.6	
	合計	102	16.7	
合計		612	100.0	

問 9-2 【問 9 で「1 住んでいた」と答えた方だけ
 にかがいます】合併前と比べて行政の仕事
 はどう変わりましたか。(それぞれあてはまる
 番号にひとつずつ○)

(a) 住民票・戸籍などの窓口サービス

		度数	%	有効%
有効	1 よくなった	72	11.8	14.4
	2 変わらない	357	58.3	71.3
	3 悪くなった	7	1.1	1.4
	9 わからない	65	10.6	13.0
	合計	501	81.9	100.0
欠損値	88 非該当	86	14.1	
	99 無回答	25	4.1	
	合計	111	18.1	
合計		612	100.0	

(b) ごみの収集・処理

		度数	%	有効%
有効	1 よくなった	108	17.6	21.1
	2 変わらない	356	58.2	69.7
	3 悪くなった	5	.8	1.0
	9 わからない	42	6.9	8.2
	合計	511	83.5	100.0
欠損値	88 非該当	86	14.1	
	99 無回答	15	2.5	
	合計	101	16.5	
合計		612	100.0	

(c) 生活道路の整備

		度数	%	有効%
有効	1 よくなった	100	16.3	20.0
	2 変わらない	307	50.2	61.3
	3 悪くなった	51	8.3	10.2
	9 わからない	43	7.0	8.6
	合計	501	81.9	100.0
欠損値	88 非該当	86	14.1	
	99 無回答	25	4.1	
	合計	111	18.1	
合計		612	100.0	

(d) 都市基盤の整備

		度数	%	有効%
有効	1 よくなった	57	9.3	11.5
	2 変わらない	305	49.8	61.5
	3 悪くなった	29	4.7	5.8
	9 わからない	105	17.2	21.2
	合計	496	81.0	100.0
欠損値	88 非該当	86	14.1	
	99 無回答	30	4.9	
	合計	116	19.0	
合計		612	100.0	

(e) 小中学校

		度数	%	有効%
有効	1 よくなった	43	7.0	8.6
	2 変わらない	311	50.8	62.0
	3 悪くなった	25	4.1	5.0
	9 わからない	123	20.1	24.5
	合計	502	82.0	100.0
欠損値	88 非該当	86	14.1	
	99 無回答	24	3.9	
	合計	110	18.0	
合計		612	100.0	

(f) 幼稚園・保育所

		度数	%	有効%
有効	1 よくなった	50	8.2	9.9
	2 変わらない	308	50.3	61.1
	3 悪くなった	24	3.9	4.8
	9 わからない	122	19.9	24.2
	合計	504	82.4	100.0
欠損値	88 非該当	86	14.1	
	99 無回答	22	3.6	
	合計	108	17.6	
合計		612	100.0	

(g) 町内会・自治会への支援

		度数	%	有効%
有効	1 よくなった	37	6.0	7.4
	2 変わらない	293	47.9	58.5
	3 悪くなった	38	6.2	7.6
	9 わからない	133	21.7	26.5
	合計	501	81.9	100.0
欠損値	88 非該当	86	14.1	
	99 無回答	25	4.1	
	合計	111	18.1	
合計		612	100.0	

(h) 産業の振興

		度数	%	有効%
有効	1 よくなった	64	10.5	12.7
	2 変わらない	277	45.3	55.2
	3 悪くなった	32	5.2	6.4
	9 わからない	129	21.1	25.7
	合計	502	82.0	100.0
欠損値	88 非該当	86	14.1	
	99 無回答	24	3.9	
	合計	110	18.0	
合計		612	100.0	

(i) 健康・福祉施策

		度数	%	有効%
有効	1 よくなった	85	13.9	16.7
	2 変わらない	301	49.2	59.3
	3 悪くなった	28	4.6	5.5
	9 わからない	94	15.4	18.5
	合計	508	83.0	100.0
欠損値	88 非該当	86	14.1	
	99 無回答	18	2.9	
	合計	104	17.0	
合計		612	100.0	

◇ここからは再び、すべての方に、地域や社会についてのご意見をうかがいます

問10 現在、大船渡市としての一体感を感じますか。
(あてはまる番号にひとつだけ○)

		度数	%	有効%
有効	1 感じる	58	9.5	9.8
	2 どちらかといえば感じる	147	24.0	24.7
	3 どちらともいえない	230	37.6	38.7
	4 どちらかといえば感じない	102	16.7	17.2
	5 感じない	57	9.3	9.6
合計		594	97.1	100.0
欠損値	99 無回答	18	2.9	
合計		612	100.0	

問11 次のところに愛着を感じますか。(それぞれあてはまる番号にひとつずつ○)

(a) お住まいの町内や集落

		度数	%	有効%
有効	1 感じる	221	36.1	37.1
	2 やや感じる	220	35.9	37.0
	3 あまり感じない	119	19.4	20.0
	4 感じない	35	5.7	5.9
	合計	595	97.2	100.0
欠損値	99 無回答	17	2.8	
合計		612	100.0	

(b) お住まいの地区（盛町、三陸町綾里など）

		度数	%	有効%
有効	1 感じる	133	21.7	25.9
	2 やや感じる	206	33.7	40.2
	3 あまり感じない	142	23.2	27.7
	4 感じない	32	5.2	6.2
	合計	513	83.8	100.0
欠損値	99 無回答	99	16.2	
合計		612	100.0	

(c) 現在の大船渡市

		度数	%	有効%
有効	1 感じる	134	21.9	23.7
	2 やや感じる	245	40.0	43.3
	3 あまり感じない	144	23.5	25.4
	4 感じない	43	7.0	7.6
	合計	566	92.5	100.0
欠損値	99 無回答	46	7.5	
合計		612	100.0	

(d) 【旧大船渡市地域にお住まいの方のみ】 合併前の旧大船渡市

		度数	%	有効%
有効	1 感じる	114	18.6	29.3
	2 やや感じる	155	25.3	39.8
	3 あまり感じない	95	15.5	24.4
	4 感じない	25	4.1	6.4
	合計	389	63.6	100.0
欠損値	88 非該当	183	29.9	
	99 無回答	40	6.5	
	合計	223	36.4	
合計		612	100.0	

(e) 【旧三陸町地域にお住まいの方のみ】 合併前の旧三陸町

		度数	%	有効%
有効	1 感じる	36	5.9	39.6
	2 やや感じる	28	4.6	30.8
	3 あまり感じない	20	3.3	22.0
	4 感じない	7	1.1	7.7
	合計	91	14.9	100.0
欠損値	88 非該当	517	84.5	
	99 無回答	4	.7	
	合計	521	85.1	
合計		612	100.0	

問 12 あなたは、次の見方について、AとBのどちらの意見に近いですか。（それぞれあてはまる番号にひとつずつ○）

(a) 【Aの意見】小さな市町村の行政がすべての課題に対応するのは困難なので、合併によって、広域的な行政を進めるべきだ

【Bの意見】身近な課題は小さな市町村のなかで解決するのが一番よいので、できる限り市町

村独自で行政を進めていくべきだ

		度数	%	有効%
有効	1 Aに近い	95	15.5	16.8
	2 どちらかといえばAに近い	252	41.2	44.6
	3 どちらかといえばBに近い	160	26.1	28.3
	4 Bに近い	58	9.5	10.3
	合計	565	92.3	100.0
欠損値	99 無回答	47	7.7	
合計		612	100.0	

(b) 【Aの意見】合併しても旧市町村の特色を残す行政をするべきだ

【Bの意見】合併したら新市で一体の行政をするべきだ

		度数	%	有効%
有効	1 Aに近い	85	13.9	15.0
	2 どちらかといえばAに近い	253	41.3	44.8
	3 どちらかといえばBに近い	143	23.4	25.3
	4 Bに近い	84	13.7	14.9
	合計	565	92.3	100.0
欠損値	99 無回答	47	7.7	
合計		612	100.0	

(c) 【Aの意見】行政の財政的な負担には限界があるので、集落移転や統合を推し進めるのがよい

【Bの意見】福祉バスなどを充実させ、集落を今の場所で維持することを最優先するのがよい

		度数	%	有効%
有効	1 Aに近い	55	9.0	9.7
	2 どちらかといえばAに近い	131	21.4	23.1
	3 どちらかといえばBに近い	243	39.7	42.9
	4 Bに近い	138	22.5	24.3
	合計	567	92.6	100.0
欠損値	99 無回答	45	7.4	
合計		612	100.0	

問 13 社会のあり方について、あなたは、AとBの
 どちらの意見に近いですか。(それぞれあては
 まる番号にひとつずつ○)

(a) 【Aの意見】自分のことは自分で面倒をみるよ
 うに、個人が責任をもつ社会をめざすべきだ

【Bの意見】生活に困っている人たちに手厚く
 福祉を提供する社会をめざすべきだ

		度数	%	有効%
有効	1 Aに近い	49	8.0	8.4
	2 どちらかといえばAに近 い	149	24.3	25.6
	3 どちらかといえばBに近 い	238	38.9	40.9
	4 Bに近い	146	23.9	25.1
	合計	582	95.1	100.0
欠損値	99 無回答	30	4.9	
合計		612	100.0	

(b) 【Aの意見】個人の努力を促すために所得格差
 をもっとつけるべきだ

【Bの意見】所得をもっと平等にすべきだ

		度数	%	有効%
有効	1 Aに近い	27	4.4	4.7
	2 どちらかといえばAに近 い	150	24.5	26.2
	3 どちらかといえばBに近 い	268	43.8	46.8
	4 Bに近い	128	20.9	22.3
	合計	573	93.6	100.0
欠損値	99 無回答	39	6.4	
合計		612	100.0	

(c) 【Aの意見】競争は、社会の活力や勤勉のもと
 になる

【Bの意見】競争は、格差を拡大させるなど、
 問題のほうが多い

		度数	%	有効%
有効	1 Aに近い	45	7.4	8.0
	2 どちらかといえばAに近 い	247	40.4	43.7
	3 どちらかといえばBに近 い	193	31.5	34.2
	4 Bに近い	80	13.1	14.2
	合計	565	92.3	100.0
欠損値	99 無回答	47	7.7	
合計		612	100.0	

◇最後に、あなたご自身についてうかがいます

問 14 あなたの性別にひとつだけ○をつけてくださ

い。また、年齢を数字でご記入ください。

		度数	%	有効%
有効	1 男性	258	42.2	42.6
	2 女性	348	56.9	57.4
	合計	606	99.0	100.0
欠損値	99 無回答	6	1.0	
合計		612	100.0	

		度数	%	有効%
有効	20～29歳	44	7.2	7.4
	30～39歳	53	8.7	8.9
	40～49歳	76	12.4	12.8
	50～59歳	118	19.3	19.8
	60～69歳	174	28.4	29.2
	70～79歳	127	20.8	21.3
	80歳以上	4	0.7	0.7
	合計	596	97.4	100.0
欠損値	99 無回答	16	2.6	
合計		612	100.0	

問 15 あなたは、中学校を卒業したときに、どちら
 に住んでいましたか。(あてはまる番号にひとつ
 だけ○)

		度数	%	有効%
有効	1 旧大船渡市内	348	56.9	57.6
	2 旧三陸町内	107	17.5	17.7
	3 陸前高田市・住田町	53	8.7	8.8
	4 釜石市	12	2.0	2.0
	5 遠野市	5	.8	.8
	6 1～5以外の岩手県内	39	6.4	6.5
	8 7以外の宮城県内	11	1.8	1.8
	9 岩手・宮城県以外	29	4.7	4.8
	合計	604	98.7	100.0
欠損値	99 無回答	8	1.3	
合計		612	100.0	

問 16 あなたが最後に卒業した学校(在学中を含む)
 はどちらですか。(あてはまる番号にひとつだ
 け○)(※旧制の場合は「その他」に具体的に
 お書きください)

		度数	%	有効%
有効	1 中学校	118	19.3	19.5
	2 高校	294	48.0	48.6
	3 短大・高専・専門学校	129	21.1	21.3
	4 大学・大学院	62	10.1	10.2
	5 その他	2	.3	.3
	合計	605	98.9	100.0
欠損値	99 無回答	7	1.1	
合計		612	100.0	

問 17 同居しているご家族は、あなたを含めて、全員で何人でしょうか。数字でご記入ください。

		度数	%	有効%
有効	1人	54	8.8	9.0
	2人	167	27.3	27.7
	3人	144	23.5	23.9
	4人	112	18.3	18.6
	5人	57	9.3	9.5
	6人	47	7.7	7.8
	7人	18	2.9	3.0
	8人	3	.5	.5
	10人	1	.2	.2
		合計	603	98.5
欠損値	99 無回答	9	1.5	
	合計	612	100.0	

問 18 あなたのお住まいは、東日本大震災でどのような被害を受けましたか。(あてはまる番号にひとつだけ○)

		度数	%	有効%
有効	1 全壊	113	18.5	18.9
	2 大規模半壊	27	4.4	4.5
	3 半壊	27	4.4	4.5
	4 一部損壊	167	27.3	27.9
	5 被害はなかった	265	43.3	44.2
	合計	599	97.9	100.0
欠損値	99 無回答	13	2.1	
	合計	612	100.0	

問 19 あなたは、今のところに何年お住まいですか。数字でご記入ください。

		度数	%	有効%
有効	3年未満	76	12.4	12.8
	3年以上5年未満	46	7.5	7.7
	5年以上10年未満	40	6.5	6.7
	10年以上20年未満	64	10.5	10.7
	20年以上30年未満	83	13.6	13.9
	30年以上40年未満	95	15.5	15.9
	40年以上50年未満	91	14.9	15.3
	50年以上60年未満	66	10.8	11.1
	60年以上	35	5.7	5.9
		合計	596	97.4
欠損値	99.0 無回答	16	2.6	
	合計	612	100.0	

問 20 あなたの現在のお住まいは、次のどれですか。(あてはまる番号にひとつだけ○)

		度数	%	有効%
有効	1 持家(一戸建て)	522	85.3	86.4
	2 借家・賃貸住宅	42	6.9	7.0
	3 公営住宅(災害公営住宅を含む)	18	2.9	3.0
	4 社宅・寮・官舎	7	1.1	1.2
	5 応急仮設住宅	12	2.0	2.0
	6 親戚・知人宅	1	.2	.2
	7 その他	2	.3	.3
	合計	604	98.7	100.0
欠損値	99 無回答	8	1.3	
	合計	612	100.0	

問 21 あなたのお仕事は次のどれですか。複数あるときは、収入の最も多いものをお答えください。(あてはまる番号にひとつだけ○)

		度数	%	有効%
有効	1 無職	159	26.0	26.9
	2 家事	62	10.1	10.5
	3 会社経営・役員	35	5.7	5.9
	4 常雇・フルタイムの雇用者	176	28.8	29.8
	5 非常勤・臨時・派遣・パート・アルバイト・内職など	89	14.5	15.1
	6 農林漁業	25	4.1	4.2
	7 農林漁業以外の自営業・家族従業員・自由業	45	7.4	7.6
	合計	591	96.6	100.0
欠損値	99 無回答	21	3.4	
	合計	612	100.0	

問 21-1 【問 21 で 3~7 と答えた方だけにうかがいます】お仕事の種類は次のどれですか。(あてはまる番号にひとつだけ○)

		度数	%	有効%
有効	1 専門職	73	11.9	20.7
	2 管理職	26	4.2	7.4
	3 事務職	60	9.8	17.0
	4 販売職	36	5.9	10.2
	5 生産工程・労務、保安職	87	14.2	24.7
	6 サービス職	39	6.4	11.1
	7 農林漁業	31	5.1	8.8
	合計	352	57.5	100.0
欠損値	88 非該当	221	36.1	
	99 無回答	39	6.4	
	合計	260	42.5	
	合計	612	100.0	

問 21-2 【問 21 で 3～7 と答えた方だけにうかがいます】お仕事の場所はどちらですか。(あてはまる番号にひとつだけ○)

		度数	%	有効%
有効	0 自宅・敷地内	31	5.1	9.2
	1 旧大船渡市内	227	37.1	67.2
	2 旧三陸町内	35	5.7	10.4
	3 陸前高田市・住田町	32	5.2	9.5
	4 釜石市	5	.8	1.5
	6 1～5以外の岩手県内	5	.8	1.5
	9 岩手・宮城県以外	3	.5	.9
	合計	338	55.2	100.0
欠損値	88 非該当	223	36.4	
	99 無回答	51	8.3	
	合計	274	44.8	
合計		612	100.0	

問 22 【すべての方にうかがいます】 復興と地域の将来について、ご意見をお聞かせください。
(省略)

震災復興と地域自治に 関する大船渡市民意識調査 調査結果のあらまし

岩手県大船渡市

2017年3月31日 発行

編集：丸山真央

発行：滋賀県立大学人間文化学部 丸山真央研究室

東日本大震災の被災地では、各地で復旧・復興事業が進行しています。地震・津波の大きな被害に遭った地域の中には、2000年代の「平成の市町村大合併」の中で合併を経験した市町村が少なくありません。合併による自治体の規模拡大は、巨大災害や復興における行政の対応にどのような影響を及ぼした・及ぼしているのでしょうか。

岩手県大船渡市は、「平成の大合併」の中で東北地方第1号の合併をおこない、その10年後に東日本大震災で大きな被害に遭いました。この報告書は、合併自治体の災害・復興への行政対応に関して、市民の皆様がどのように評価しているのかを明らかにするために大船渡市で実施した質問紙調査の結果のあらましまとめたものです。

調査にご回答いただいた大船渡市民の皆様には、改めて厚く御礼を申し上げます。

研究代表者 滋賀県立大学人間文化学部准教授 丸山真央

※調査は、公益財団法人J R西日本あんしん社会財団の公募助成（「東日本大震災の復旧・復興において「平成の大合併」の自治体再編がもたらした影響の検証」，研究代表者・丸山）を受けて実施しました。

●ご回答をお願いした皆様

調査は、大船渡市内在住の20～79歳の男女1,210人の皆様にご回答をお願いしました。調査対象者は、大船渡市選挙管理委員会にて選挙人名簿抄本を閲覧して等間隔無作為抽出法によって決定しました。質問紙は2016年9月に郵送で配布しました。返信用封筒を同封して、回収も郵送でおこないました。回収数は612票（不達6票）、回収率は50.6%でした。

●ご回答いただいた皆様

ご回答いただいた皆様は、実際の人口構成（平成27年国勢調査の結果）と比べると、男性がやや少なく、女性が多いです。年齢別では、20～40歳代が実際の人口より少なく、50～70歳代の割合が大きくなっています。地区別にみると、住民基本台帳の人口より構成比が大きいののは末崎町、日頃市町、三陸町綾里、三陸町越喜来です。構成比が小さいのは

盛町、大船渡町、赤崎町、猪川町、立根町、三陸町吉浜です。

●市町村合併をふりかえって

大船渡市は2001年11月15日、気仙郡三陸町を編入合併しました。調査回答者(全612人)のうち、この合併を「評価する」24%、「ある程度評価する」48%、「ほとんど評価しない」15%、「評価しない」7%、無回答5%という結果です。15年前の合併に対して肯定的な評価をしている市民が7割を占めています。

合併前の旧大船渡市エリア在住者と旧三陸町エリア在住者に分けてみても、合併に対する評価は、両者であまり変わりません。「評価する」と「ある程度評価する」をあわせた肯定的評価は、旧三陸町エリア在住者のほうが割合が大きく、「ほとんど評価しない」と「評価しない」をあわせた否定的評価の割合は、旧三陸町エリア在住者のほうが小さいです。

全国各地の市町村合併した地域の中には、合併したことに對して住民の不満が小さくないところがあります。とくに、合併されて周辺化した地域の中には、合併のデメリットを多く感じているところがしばしば見られます。そうした地域と比べると、大船渡市民の皆様の合併に対する評価はかなり異なる結果となっています。

調査回答者の構成

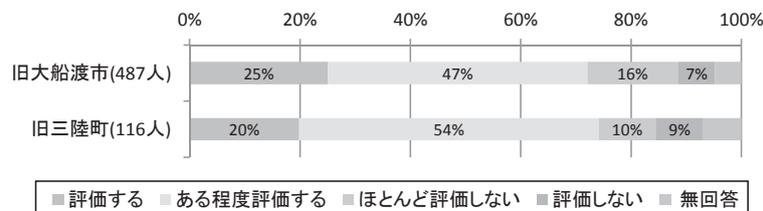
	調査回答者		実際の人口	
	(人)	(%)	(人)	(%)
性別	男性	258 (42.2)	18,581 (48.8)	▼
	女性	348 (56.9)	19,477 (51.2)	△
	不明	6 (1.0)	0 (0.0)	
	合計	612 (100.0)	38,058 (100.0)	
年齢別	20～29歳	44 (7.2)	2,578 (9.2)	▼
	30～39歳	53 (8.7)	3,706 (13.2)	▼
	40～49歳	76 (12.4)	4,829 (17.3)	▼
	50～59歳	118 (19.3)	5,228 (18.7)	△
	60～69歳	174 (28.4)	6,242 (22.3)	△
	70～79歳	127 (20.8)	5,395 (19.3)	△
	80歳以上	4 (0.7)	0 (0.0)	
	不明	16 (2.6)	0 (0.0)	
	合計	612 (100.0)	27,978 (100.0)	
地区別	盛町	53 (8.7)	3,578 (9.5)	▼
	大船渡町	125 (20.4)	8,138 (21.6)	▼
	末崎町	76 (12.4)	4,281 (11.4)	△
	赤崎町	62 (10.1)	4,356 (11.6)	▼
	猪川町	70 (11.4)	4,652 (12.4)	▼
	立根町	67 (10.9)	4,384 (11.6)	▼
	日頃市町	34 (5.6)	1,925 (5.1)	△
	旧大船渡市計	487 (79.6)	31,314 (83.2)	
	三陸町綾里	48 (7.8)	2,578 (6.8)	△
	三陸町越喜来	47 (7.7)	2,440 (6.5)	△
	三陸町吉浜	21 (3.4)	1,323 (3.5)	▼
	旧三陸町計	116 (19.0)	6,341 (16.8)	
	大船渡市計	603 (98.5)	37,655 (100.0)	
その他(市外)	6 (1.0)	0 (0.0)		
不明	3 (0.5)	0 (0.0)		
合計	612 (100.0)	37,655 (100.0)		

注1:性別と年齢別の人口は平成27年国勢調査による。地区別の人口は平成28年9月30日現在の住民基本台帳による。

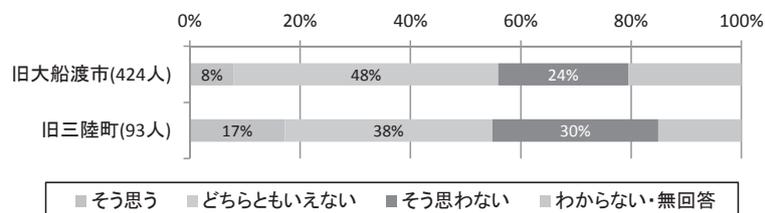
注2:80歳以上は本来は標本抽出対象外のため、国勢調査の結果は表示していない。

注3:△は人口全体に占める割合(%)より調査回答者全体に占める割合(%)が大きいもの。▼は調査回答者全体に占める割合(%)が小さいもの。

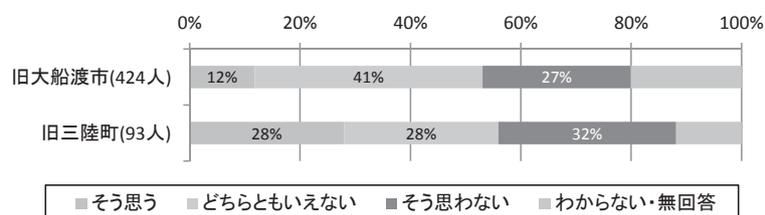
2001年の旧大船渡市と旧三陸町との合併を評価するか



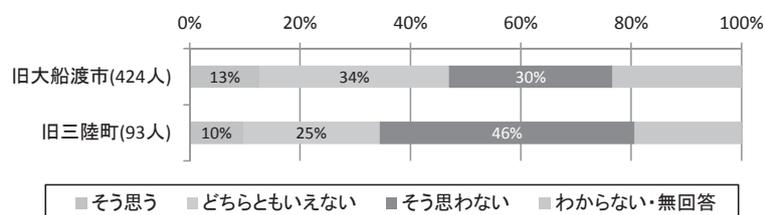
「合併によって行政サービスが充実した」



「合併によって公共施設が利用しやすくなった」



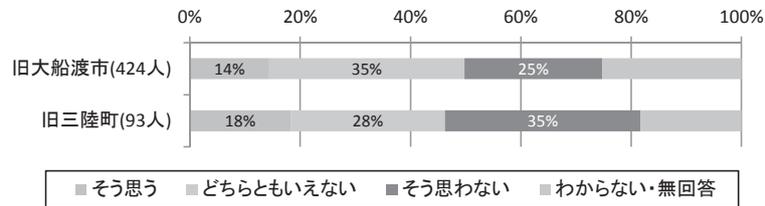
「合併によって自治体への住民参加が広がった」



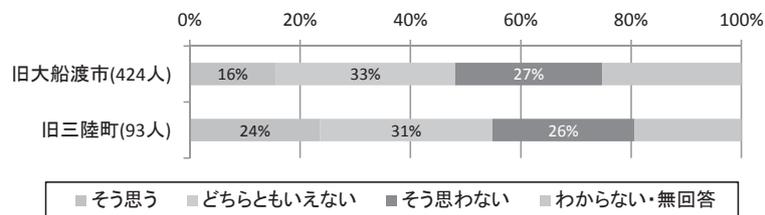
「合併によって行政サービスが充実した」かどうかを尋ねたところ、旧三陸町エリア在住者のほうが、「そう思う」と答えた割合が大きいという結果です。ただ「そう思わない」という割合も、旧三陸町エリア在住者のほうが大きく、旧三陸町エリアの中でも評価が割れていることがうかがえます。「公共施設が利用しやすくなった」という点でも、同じような回答傾向がみられます。

その一方、「合併によって自治体への住民参加が広がった」かどうかの評価は、旧三陸町エリア在住者のほうが、旧大船渡市エリア在住者より「そう思わない」と回答した割合が大きくなっています。合併の負の影響が全くないとみているわけではなさそうです。

「合併によって知らない行政職員ばかりになった」



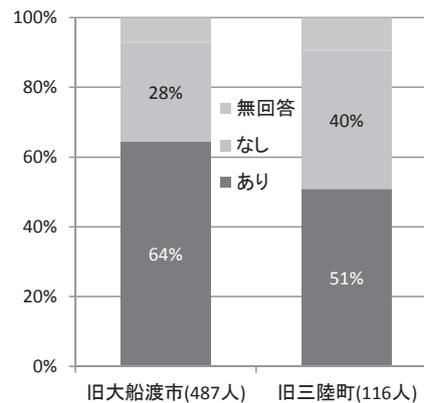
「合併によって首長や議員が身近でなくなった」



災害時の行政の対応を考えると、行政職員と住民の距離が近いことは重要です。「合併によって知らない行政職員ばかりになった」かどうかについて、旧三陸町エリア在住者のほうが、「そう思う」と答えた割合がやや大きくなっています。ただ、「そう思わない」と答えた割合も旧三陸町エリア在住者のほうが大きくなっています。「合併によって首長や議員が身近でなくなった」かどうかについては、旧三陸町エリア在住者のほうが、「そう思う」と答えた割合が大きく、政治との距離が広がったという実感があるようです。

最後に、合併から15年以上を経て、大船渡市への愛着は育っているかどうかみてみましょう。今の大船渡市に対して、旧大船渡市エリア在住者は6割強が「愛着がある」と答えています。しかし、三陸町エリア在住者で「愛着がある」と答えたのは半数です。合併前の旧市町による住民意識の違いは、それほど大きくはないものの、今なお少し残っているようです。

今の大船渡市に愛着があるか

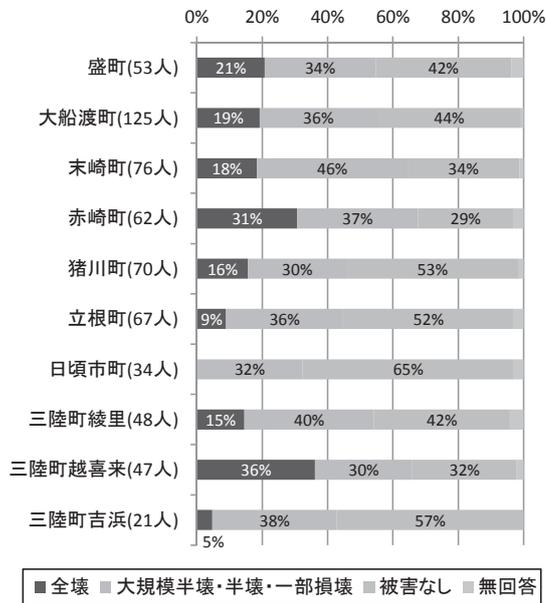


● 震災・復興での行政の対応

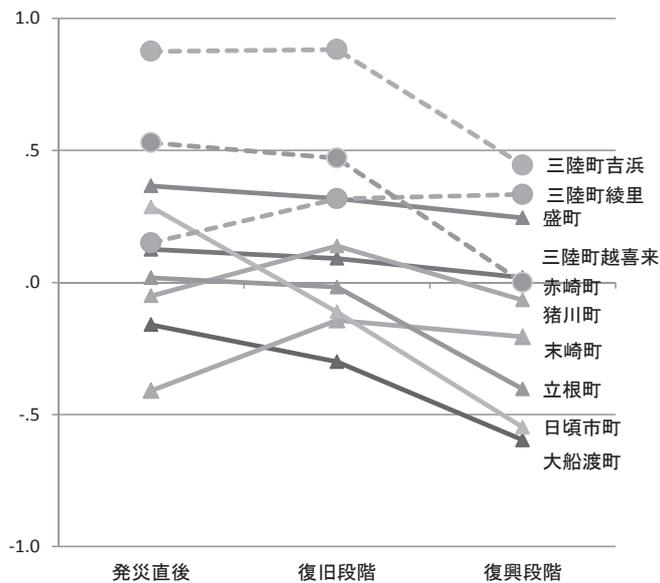
東日本大震災において調査回答者の世帯が遭った被害を地区ごとにみると、「全壊」の割合が大きいのは三陸町越喜来、赤崎町、盛町などです。

調査では、震災における行政（国・県・市）の災害対応を市民の皆様がどのように評価しているかをお尋ねしました。ここでは、市の対応に関する評価を、発災直後（地震・津波の発生直後）、復旧段階（インフラが復旧しはじめたころ）、復興段階（復興事業が進行しているころ）のそれぞれの時点でどのように変化しているのかをグラフで示しました。発災直後・復旧段階に比べて、復興段階の行政対応の評価が下がっている地区がかなり目立ちます。

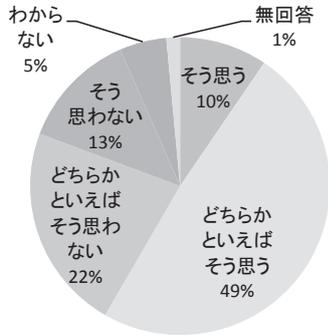
回答者世帯の被害状況



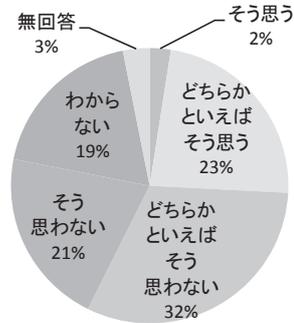
東日本大震災における市行政の対応の評価(-3~3点)



「市全体として、復興は順調に進んでいる」(全612人)



「市全体として、復興計画に住民の意見が十分反映されている」(全612人)

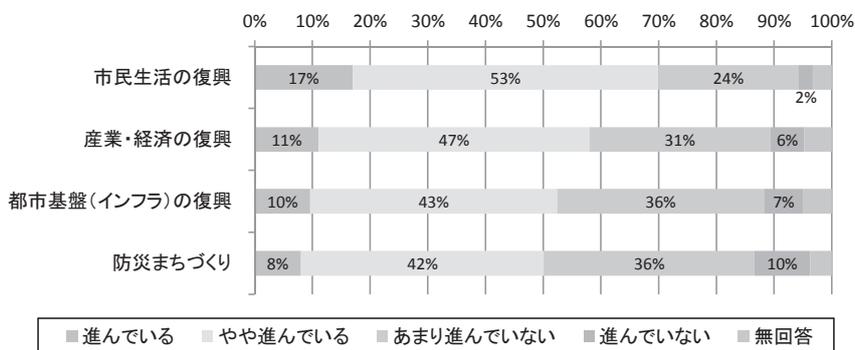


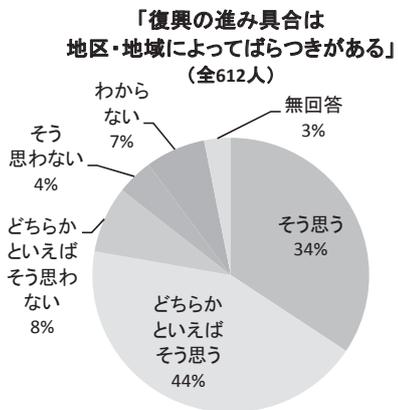
「市全体として、復興は順調に進んでいる」かどうかについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」という肯定的評価は6割に上ります。「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」という否定的評価は3割台半ば程度です。

その一方、「市全体として、復興計画に住民の意見が十分反映されている」という点については、「そう思う」との回答はごくわずかで、「どちらかといえばそう思う」をあわせても4分の1しかありません。「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」という否定的評価は過半数を占めています。

大船渡市の復興計画がどの程度進捗しているのかに関する評価を、項目ごとにお尋ねしました。「市民生活の復興」は7割が、「産業・経済の復興」は6割が進捗していると評価しています。「都市基盤（インフラ）の復興」と「防災まちづくり」は、進捗しているという評価は5割程度にとどまっており、進捗していないという評価が半数近くあります。

市の復興計画の進捗状況をどう評価するか(全612人)





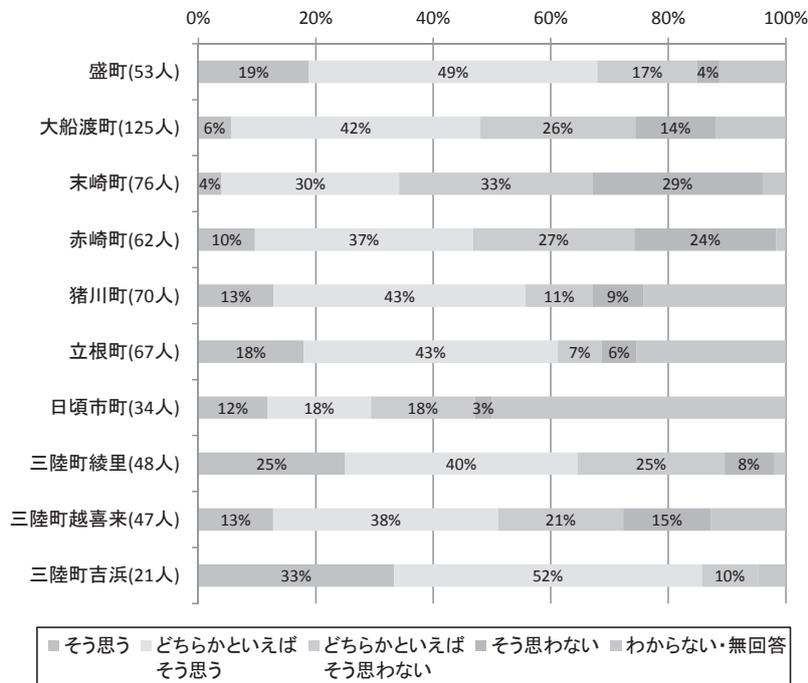
●復興における地域格差

「復興の進み具合は、地区・地域によってばらつきがある」かどうかについては、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」との回答をあわせて8割近くに上ります。

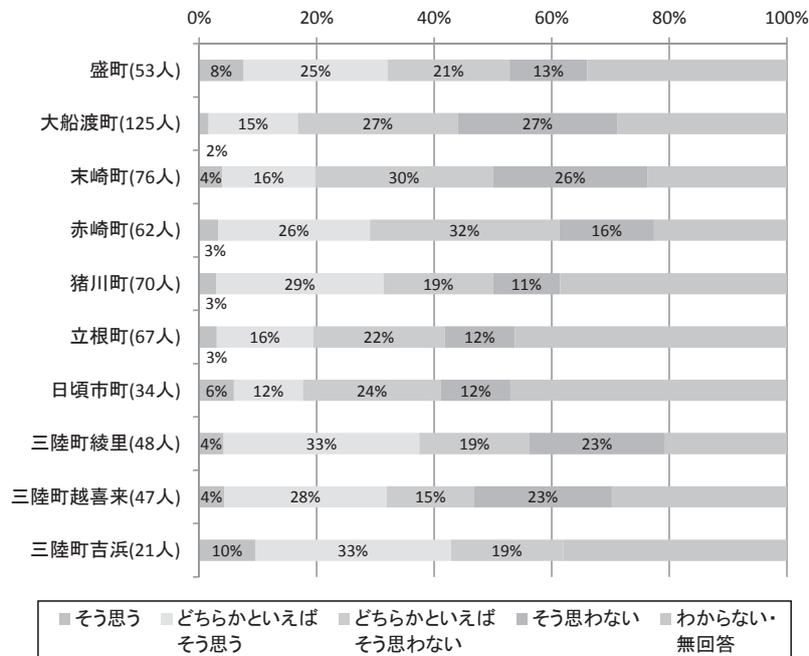
「自分の住んでいる地区では、復興は順調に進んでいる」かどうかは、回答者全体では、「そう思う」12%、「どちらかといえばそう思う」40%、「どちらかといえばそう思わない」21%、「そう思わない」13%、「わからない」9%、無回答5%という結果です。

この回答結果は地区によってかなり異なります。自分の地区で復興が順調に進んでいるかについて「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた肯定的な回答が多いのは、三陸町吉浜、盛町、三陸町綾里などです。「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた否定的な回答が多いのは、末崎町、赤崎町、大船渡町などです。

「自分の住んでいる地区では、復興は順調に進んでいる」



「自分の住んでいる地区では、
復興計画に、住民の意見が十分反映されている」



「自分の住んでいる地区では、復興計画に住民の意見が十分反映されている」かどうかについて、回答者全体では「そう思う」4%、「どちらかといえばそう思う」22%、「どちらかといえばそう思わない」24%、「そう思わない」19%、「わからない」28%、無回答4%という結果で、肯定的な回答より否定的な回答のほうが大きな割合を占めています。

この回答結果も地区によってかなり大きく異なります。自分の地区で復興計画に住民意見が反映されているかについて「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた肯定的な回答が多いのは三陸町吉浜です。「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた否定的な回答が多いのは、末崎町、大船渡町、赤崎町、三陸町越喜来などです。三陸町綾里、盛町などでは、肯定的な回答と否定的な回答が拮抗しています。

◇この報告書に関するお問い合わせは、以下にお願いいたします。

滋賀県立大学 人間文化学部 丸山真央研究室

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500

☎0749-28-8438 (研究室直通) E-mail: maruyama.ma@shc.usp.ac.jp

「震災復興と地域自治に関する大船渡市民意識調査」結果報告書

2017年3月31日 発行

編集 丸山真央
発行 滋賀県立大学 人間文化学部 丸山真央研究室
〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500
印刷 有限会社木村桂文社

